

# FUJIFILM

BL00004857-105 **JA**

DIGITAL CAMERA

# X100F

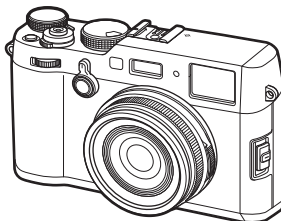
## 使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、富士フィルムデジタルカメラ X100F の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

X100F スペシャルサイト

<http://fujifilm-x.com/x100f/>



本製品の内容については、オンラインマニュアルを併せてご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/manuals/>



はじめに

撮影の準備

静止画の撮影と再生

動画の撮影と再生

Q (クイックメニュー) ボタン

Fn (ファンクション) ボタン

いろいろな撮影と再生

メニュー

他の機器と接続

カメラで使えるアクセサリ

お取り扱いにご注意ください

困ったときは

資料





## カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって  
準備してください。

1

箱の中の付属品が  
すべてそろっているかを  
確認してください（右記）。



2

カメラを安全に使用されるために、  
「お取り扱いにご注意ください」  
（p.164）をお読みください。



3

本書をよくお読みの上、  
カメラをお使いください。

### ■ 付属品一覧

- 充電式バッテリー NP-W126S  
（1個）



- ストラップリング  
取り付け補助具（1個）

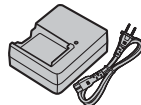


- ストラップリング（2個）

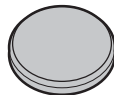


- ストラップリングカバー（2枚）
- ショルダーストラップ（1本）

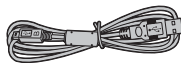
- バッテリーチャージャー  
BC-W126（1式）



- レンズキャップ（1個）








- 専用 USB ケーブル（Micro-B）  
（1本）



- 使用説明書（本書）
- 保証書（1部）

## 本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

<b>目次</b>	➔	 <b>6</b>	<b>トラブルシューティング /FAQ</b>	➔	 <b>170</b>
カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。			カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。		
<b>警告表示</b>	➔	 <b>178</b>	<b>索引</b>	➔	 <b>192</b>
画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。			用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。		
<b>各撮影モードで使用できる機能について</b>	➔	 <b>182</b>			
撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。					

### 使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

### 本書で使われている記号について

- ①：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ◆：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- ☞：参照ページを記載しています。

### 画面のイラストについて

- ・本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- ・本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

## お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようなお手入れすることをおすすめします。

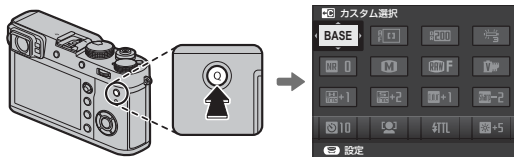
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはプロアブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。

## このカメラの便利な使い方について

このカメラでは、よく使う機能のメニューを **Q** メニューやマイメニューに登録して使用したり、**Fn**(ファンクション) ボタンで機能をダイレクトで呼び出したりできます。それぞれを用途や場面に合わせて使い分けると便利です。

### Q メニュー ( 52 )

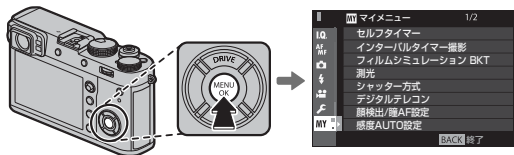
**Q** メニューは **Q** ボタンを押して表示します。



**Q** メニューでは、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。**Q** メニューで設定値を変更することもできます。

### マイメニュー ( 138 )

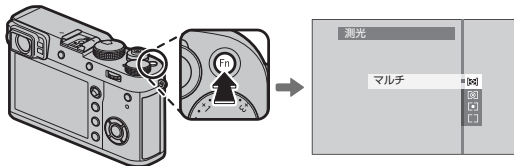
よく使うメニューなどを選んで登録しておくことができます。**MENU/OK** ボタンを押して、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。



◆ **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY** (マイメニュー) タブを選ぶことはできません。

### ファンクションボタン ( 55 )

ファンクションボタンは、ボタンを押すと、あらかじめ割り当てられている機能をダイレクトで呼び出すことができます。












**Fn1** ボタンを押して、測光設定画面を呼び出した例

# 目次

<b>はじめに</b>	<b>2</b>
カメラをお使いになる前に	2
本書について	3
お手入れについて	4
このカメラの便利な使い方について	5
<b>各部の名称</b>	<b>12</b>
セレクトボタン	14
フォーカスレバー	15
シャッタースピード / 感度ダイヤル	15
コマンドダイヤル	16
インジケータランプ	17
コントロールリング	18
シャッタースピードダイヤルと絞りリング	19
<b>画面の表示</b>	<b>20</b>
静止画撮影時	20
再生時	24
<b>撮影の準備</b>	<b>26</b>
ストラップを取り付ける	26
バッテリーを充電する	28
バッテリーとメモリーカードを入れる	30
使用可能なメモリーカード	32
電源をオンにする / オフにする	33
初期設定を行う	34
言語、日時を変更する	34

ビューファインダー (OVF/EVF) と 液晶モニター (LCD) の表示について	35
ビューファインダーと液晶モニターの切り換え	35
ハイブリッドビューファインダーの表示切り換え	36
EVF の縦表示について	37
視度調節ダイヤル	37
EVF 明るさ・EVF 鮮やかさ調整	37
LCD 明るさ・LCD 鮮やかさ調整	37
情報表示について	38
<b>静止画の撮影と再生</b>	<b>41</b>
静止画を撮影する	41
静止画を再生する	43
1 コマ再生	43
撮影時の情報確認	44
再生ズーム	45
マルチ再生	46
画像を消去する	47
1 コマ消去	47
複数指定消去	48
全コマ消去	48
<b>動画の撮影と再生</b>	<b>49</b>
動画を撮影する	49
外部マイクについて	50
動画を再生する	51
動画再生時の操作方法について	51

<b>Q (クイックメニュー) ボタン</b> .....	<b>52</b>	露出を補正したい.....	69
Qメニューを使う.....	52	ISO感度を変更したい.....	70
画面について.....	52	明るさの測定方法を変更したい(測光モード).....	71
設定の確認と変更.....	53	フィルムシミュレーションを使って撮影したい.....	72
クイックメニューの割り当て変更.....	54	ホワイトバランスを変更したい.....	73
<b>Fn (ファンクション) ボタン</b> .....	<b>55</b>	ピントに関する設定を変更したい.....	76
ファンクションボタンを使う.....	55	ピント合わせの方法を変更(フォーカスモード).....	76
ファンクションボタンの割り当て変更.....	56	M(マニュアルフォーカス)での撮影方法.....	78
<b>いろいろな撮影と再生</b> .....	<b>58</b>	AFモードの選択.....	80
撮影モードを変更したい.....	58	フォーカスエリア選択.....	81
プログラム(P).....	58	長時間露出で撮影したい.....	85
シャッタースピード優先(S).....	59	タイム撮影(T).....	85
絞り優先(A).....	60	バルブ撮影(B).....	85
マニュアル(M).....	61	リモートリリース.....	86
デジタルテレコンを使って撮影したい.....	62	セルフタイマーを使って撮影したい.....	87
いろいろな仕上がりの画像を撮影したい		インターバルタイマーを使って撮影したい.....	88
(ドライブモード).....	63	AE/AFロック撮影したい.....	89
 連写.....	64	フラッシュを使って撮影したい.....	91
 AEブラケット.....	64	フラッシュ機能設定.....	92
 ISOブラケット.....	64	RAW画像を撮影・現像したい.....	93
 フィルムシミュレーションブラケット.....	65	RAW画像の撮影.....	93
 ホワイトバランスブラケット.....	65	RAW画像の現像(カメラ内RAW現像).....	94
 ダイナミックレンジブラケット.....	65	撮影の設定を保存したい.....	96
 アドバンスドフィルター.....	65	フォトブックを作成したい.....	97
 パノラマ.....	66	フォトブックを作成する.....	97
 多重露出.....	68	作成したフォトブックを見る.....	98
		作成したフォトブックを編集/削除する.....	98

<b>メニュー</b> .....	<b>99</b>	AF ポイント表示   .....	104
<b>撮影メニューを使う</b> .....	<b>99</b>	フォーカス点数切り替え.....	104
撮影メニューの使い方.....	99	プリ AF.....	104
 画質設定.....	100	AF 補助光.....	105
画像サイズ.....	100	顔検出 / 瞳 AF 設定.....	105
画質モード.....	100	AF+MF.....	106
RAW 記録方式.....	101	MF アシスト.....	106
フィルム シミュレーション.....	101	フォーカスチェック.....	106
グレイン・エフェクト.....	101	測光 & フォーカスエリア連動.....	106
ダイナミックレンジ.....	101	ワンプッシュ AF 時の動作.....	106
ホワイトバランス.....	101	被写界深度スケール.....	107
ハイライトトーン.....	102	レリーズ優先 / フォーカス優先.....	107
シャドウトーン.....	102	AF フレーム補正.....	107
カラー.....	102	 撮影設定.....	108
シャープネス.....	102	セルフタイマー.....	108
ノイズリダクション.....	102	インターバルタイマー撮影.....	108
長秒時ノイズ低減.....	102	フィルムシミュレーション BKT.....	108
色空間.....	103	測光.....	108
ピクセルマッピング.....	103	シャッター方式.....	109
カスタム選択.....	103	感度 AUTO 設定.....	110
カスタム登録 / 編集.....	103	コンバージョンレンズ.....	110
 フォーカス設定.....	104	デジタルテレコン.....	110
フォーカスエリア選択.....	104	ND フィルター.....	110
AF モード.....	104	ワイヤレス通信.....	111



<b>f</b> フラッシュ設定.....	112	再生メニューを使う.....	118
フラッシュ機能設定.....	112	再生メニューの使い方.....	118
赤目補正.....	112	<b>再生メニュー</b> .....	119
TTL-LOCK モード.....	113	RAW 現像.....	119
LED ライト設定.....	113	消去.....	119
MASTER 設定.....	114	トリミング.....	119
CH 設定.....	114	リサイズ.....	120
内蔵フラッシュ.....	114	プロテクト.....	120
<b>動画設定</b> .....	115	画像回転.....	121
動画モード.....	115	赤目補正.....	121
動画 AF モード.....	115	ワイヤレス通信.....	121
HDMI 出力情報表示.....	116	スライドショー.....	122
マイクレベル設定.....	116	フォトブックアシスト.....	122
マイク/リモートリリース設定.....	116	PC 保存.....	122
<b>マイメニュー</b> .....	117	プリント予約 (DPOF).....	122
		instax プリンタープリント.....	122
		表示比率.....	123

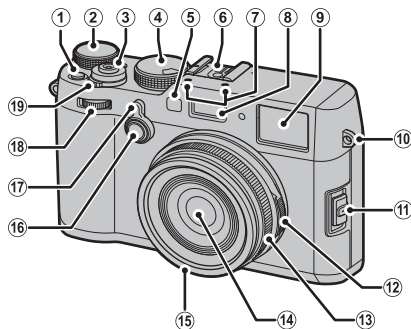
セットアップメニューを使う .....	124	モニター撮影効果反映 .....	130
セットアップメニューの使い方 .....	124	フレーミングガイド .....	131
<b>設定</b> セットアップメニュー .....	125	縦横自動回転再生 .....	131
<b>設定</b> 基本設定 .....	125	距離指標の単位 .....	131
フォーマット .....	125	画面のカスタマイズ .....	131
日時設定 .....	126	<b>設定</b> 操作ボタン・ダイヤル設定 .....	132
世界時計 .....	126	フォーカスレバー設定 .....	132
<b>言語/LANG</b> .....	126	クイックメニュー登録 / 編集 .....	132
マイメニュー設定 .....	126	ファンクション (Fn) 設定 .....	132
シャッター回数 .....	126	感度ダイヤル設定 (H) .....	132
電子音 & フラッシュ .....	126	感度ダイヤル設定 (A) .....	132
リセット .....	127	フォーカスリング .....	133
<b>設定</b> 音設定 .....	128	コントロールリング設定 .....	133
AF 合焦音量 .....	128	AE/AF-LOCK 設定 .....	133
セルフタイマー音量 .....	128	<b>設定</b> 消費電力設定 .....	134
操作音量 .....	128	自動電源 OFF .....	134
シャッター音量 .....	128	パフォーマンス .....	134
シャッター音 .....	128	<b>設定</b> 保存設定 .....	135
再生音量 .....	128	コマ NO. ....	135
<b>設定</b> 表示設定 .....	129	補正前画像記録 .....	135
EVF 明るさ .....	129	ファイル名編集 .....	135
EVF 鮮やかさ .....	129	著作権情報 .....	136
LCD 明るさ .....	129	<b>設定</b> 接続設定 .....	137
LCD 鮮やかさ .....	129	ワイヤレス設定 .....	137
撮影画像表示 .....	129	PC 保存先設定 .....	137
EVF 縦横自動回転表示 .....	130	位置情報設定 .....	137
マニュアル時モニター露出 / WB 反映 .....	130	instax プリンター接続設定 .....	137

マイメニューについて.....	138
マイメニューを登録する.....	138
工場出荷時の設定値.....	139
<b>他の機器と接続</b> .....	<b>142</b>
無線 LAN 機能を使用する	
(FUJIFILM Camera Remote/FUJIFILM PC AutoSave).....	142
スマートフォンと通信.....	142
パソコンに画像を保存.....	143
カメラをパソコンに接続して画像を転送する	
(MyFinePix Studio/RAW FILE CONVERTER EX 2.0).....	144
Windows をお使いの方.....	144
Mac OS X / macOS をお使いの方.....	144
カメラとパソコンを接続する.....	145
プリントサービス店でプリントする	
(お店プリント).....	147
プリントする画像を指定する	
(プリント予約 (DPOF)).....	148
instax SHARE プリンターで	
カメラの画像をプリントする.....	150
プリンターとの接続を設定する.....	150
画像をプリントする.....	151
テレビに接続する.....	152

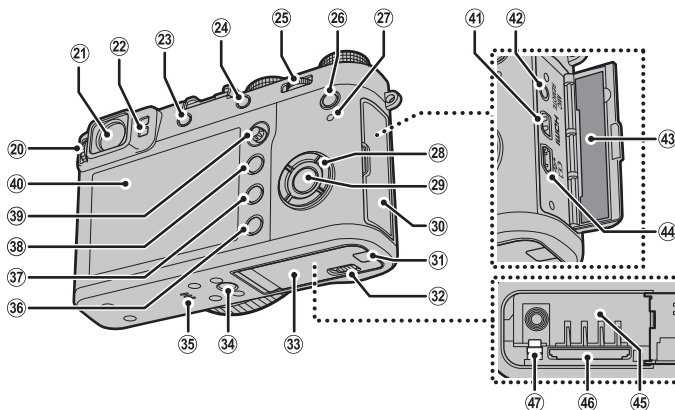
<b>カメラで使えるアクセサリ</b> .....	<b>153</b>
アクセサリ.....	153
別売アクセサリ.....	153
システム構成図.....	155
別売のクリップオンフラッシュを使う.....	156
別売アクセサリの取り付け方.....	162
コンバージョンレンズの使い方.....	163
<b>お取り扱いにご注意ください</b> .....	<b>164</b>
<b>困ったときは</b> .....	<b>170</b>
トラブルシューティング /FAQ.....	170
警告表示.....	178
<b>資料</b> .....	<b>181</b>
SD メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間.....	181
各撮影モードで使用できる機能について.....	182
リンク集.....	186
FUJIFILM X100F 製品情報.....	186
撮影の基礎知識.....	186
デジタルカメラ撮影ガイド.....	186
ファームウェア更新情報.....	186
主な仕様.....	187
索引.....	192
ソフトウェアのお問い合わせについて.....	196
アフターサービスについて.....	197

## 各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。



① 測光ボタン.....71	⑧ フラッシュ.....91	⑮ フロントリング.....162
ファンクション (Fn1) ボタン.....55	⑨ ハイブリッドビューファインダー.....18	⑯ コントロールリング設定ボタン.....55
② 露出補正ダイヤル.....69	⑩ ストラップ取り付け部.....26	⑰ ファンクション (Fn2) ボタン.....55
③ シャッターボタン.....42	⑪ フォーカスモード切替スイッチ.....76	⑱ ファインダー切替レバー.....36
④ シャッタースピード/感度ダイヤル.....15、58、59、60、61	⑫ 絞りリング.....19、58、59、60、61	⑲ フロントコマンドダイヤル.....16
⑤ AF 補助光ランプ.....105	⑬ コントロールリング.....18、62、133	⑳ 電源レバー.....33
セルフタイマーランプ.....87	フォーカスリング.....78、79、106、133	
⑥ ホットシュー.....91	⑭ レンズ.....	
⑦ マイク.....49		



⑳ 視度調節ダイヤル.....	37	㉓ インジケータランプ.....	17	㉗ ㊦ (消去) ボタン.....	16、47
㉑ ハイブリッドビューファインダー.....	20、35、38	㉔ セレクター.....	14、34	㉘ ㊧ (再生) ボタン.....	43
㉒ アイセンサー.....	35	㉕ ファンクションボタン.....	55	㉙ フォーカスレバー.....	15、81、82
㉓ <b>VIEW MODE</b> ボタン.....	35	㉖ <b>MENU/OK</b> (メニュー/決定) ボタン.....	99、118、124	㉚ 液晶モニター (LCD).....	22、35、38
㉔ <b>AEL/AFL</b> (AE ロック / AF ロック) ボタン.....	55、78、90、133	㉗ ボタンロック (長押し).....	14、23	㉛ HDMI マイクロ端子 (Type D).....	152
㉕ リアコマンドダイヤル.....	16、55	㉘ 端子カバー.....	50、86、145、152	㉜ マイク / リモートリリース端子.....	50、86
㉖ <b>Q</b> ボタン.....	52	㉙ DC カブラーカバー.....	153	㉝ 銘板プレート.....	14
クイックメニュー登録 / 編集 (長押し).....	54	㉚ バッテリーカバーロック.....	30	㉞ マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB2.0.....	145
カスタム登録 (クイックメニュー表示中に長押し).....	96	㉛ バッテリーカバー.....	30	㉟ バッテリー挿入部.....	30
RAW 現像 (再生時).....	94	㉜ 三脚用ねじ穴.....		㊱ メモリーカードスロット.....	31
		㉝ スピーカー.....	51	㊲ バッテリー取り外しつまみ.....	30
		㉞ <b>DISP/BACK</b> (表示 / 戻る) ボタン.....	38		
		ファンクションボタンの割り当て設定画面表示 (長押し).....	56		


## ● 銘板プレートについて

FCC ID、KC マーク、シリアル番号などが印刷されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。

## ● Q ボタン長押しについて

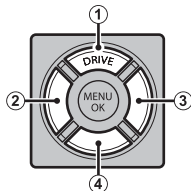
静止画撮影時のクイックメニュー表示中に ( 図 52)、Q ボタンを長押しすると、カスタム登録 / 編集画面を表示できます ( 図 96)。

## ● 撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に  が表示され、セレクターボタンと Q ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、MENU/OK ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

## セレクターボタン

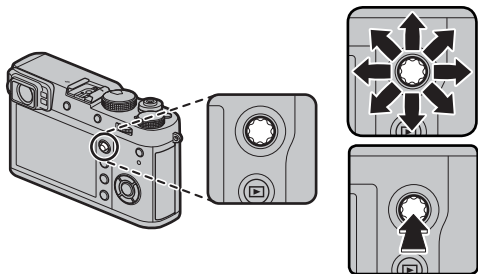
▲▼◀▶ (上下左右) ボタンを押してメニューなどの項目を選択したり、機能を使用したりできます。



- ① 上に移動 (▲)、  
DRIVE ボタン ( 図 63)
- ② 左に移動 (◀)、  
フィルムシミュレーションボタン ( 図 72)  
ファンクション (Fn3) ボタン ( 図 55)
- ③ 右に移動 (▶)、  
ホワイトバランスボタン ( 図 73)  
ファンクション (Fn4) ボタン ( 図 55)
- ④ 下に移動 (▼)、  
AF モードボタン ( 図 80)  
ファンクション (Fn5) ボタン ( 図 55)

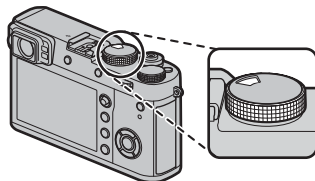
## フォーカスレバー

フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます ( 81)。また、メニュー項目の選択や再生時拡大表示中の位置移動もできます。



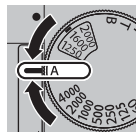
## シャッタースピード / 感度ダイヤル

シャッタースピード / 感度ダイヤルでシャッタースピードと ISO 感度を設定できます。



### ■ ダイヤルを回す

ダイヤルを回して、設定するシャッタースピードに指標を合わせてシャッタースピードを設定 ( 58、59、60、61)



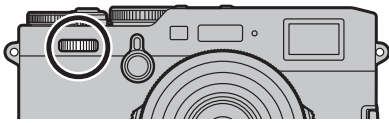
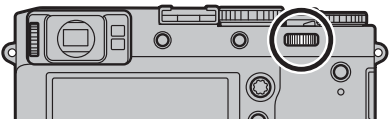
### ■ ダイヤルを引き上げて回す

ダイヤルを引き上げて回し、設定する感度に指標を合わせて ISO 感度を設定 ( 70)



## コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>メニュータブ、ページの切り替え ( 図 99、118、124)</li> <li>露出補正 (下記参照)</li> <li>ISO 感度の変更 (下記参照)</li> <li>フォーカスエリアのサイズ変更 ( 図 82、83)</li> <li>前後の画像を表示 (再生時: 図 43)</li> <li>再生ズーム時にズーム状態のまま前後の画像を表示 ( 図 45)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニュー項目の選択 ( 図 99、118、124)</li> <li>プログラムシフト ( 図 58)</li> <li>シャッタースピードの変更 ( 図 59、 図 61)</li> <li>クイックメニューの設定値を変更 ( 図 53)</li> <li>フォーカスエリアのサイズ変更 ( 図 82、83)</li> <li>画像を再生ズーム (再生時: 図 45)</li> <li>画像をマルチ再生 (再生時: 図 46)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>露出補正、ISO 感度の機能切り換え (下記参照)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピント位置の拡大表示 ( 図 77)</li> <li>ファンクション (ダイヤル) ボタン ( 図 55)</li> <li>マニュアルフォーカス時に長押しで、<b>MF アシスト</b>の設定切り換え ( 図 79)</li> <li>ピント位置拡大表示 (再生時: 図 44)</li> </ul>

### ● フロントコマンドダイヤルによる露出補正と ISO 感度の調整について

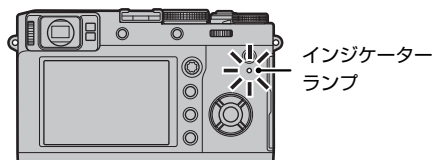
露出補正ダイヤルを **C** の位置にすると、フロントコマンドダイヤルの回転で露出補正を調整できます ( 図 69)。また、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (A)** をコマンド ( 図 132) に設定し、感度ダイヤルを **A** の位置にすると ISO 感度を調整できます ( 図 70)。上記をともに設定したときは、フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、機能を切り換えることができます。

### ● フォーマットについて

**☒** (消去) ボタンを長押し中に、リアコマンドダイヤルの中央を押すと、フォーマット画面を表示できます ( 図 125)。



## インジケータースランプ



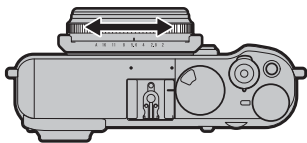
インジケータースランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケータースランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

- ◆ 画面にも、警告表示が表示されます（[図 178](#)）。
- ◆ ファインダーをのぞいているときは（[図 35](#)）、インジケータースランプは点灯 / 点滅しません。

## コントロールリング

撮影中にコントロールリングを回すと、割り当てられている機能の設定を簡単に変更できます。コントロールリング設定ボタン（Fn2）で、以下のいずれかの機能を割り当てます。



- ・スタンダード
- ・ホワイトバランス
- ・フィルムシミュレーション
- ・デジタルテレコン

◆ コントロールリングの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > コントロールリング設定**（[図 133](#)）からも設定できます。

### ■ スタンダードについて

スタンダードを割り当てると、カメラがモードに応じた機能を自動で割り当てます。

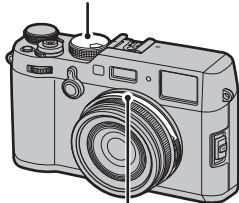
撮影モード	機能
P、S、A、M	デジタルテレコン
Adv. フィルター	フィルター選択
パノラマ/多重露出	フィルムシミュレーション

◆ 撮影モードがP、S、A、Mでフォーカスモード切り換えレバーがM（マニュアルフォーカス）のときは、割り当てられている設定にかかわらず、手動でピント合わせをする機能（MF）になります。

## シャッタースピードダイヤルと絞りリング

シャッタースピードダイヤルと絞りリングの設定で、撮影モード（P、S、A、M）を設定します。

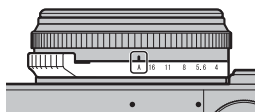
シャッタースピードダイヤル



絞りリング

### ■ Pモード

プログラムシフトができるオートモードです。



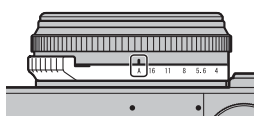
絞り：A



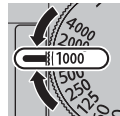
シャッタースピード：A

### ■ Sモード

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定するモードです。



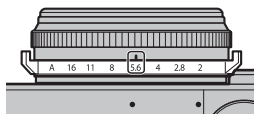
絞り：A



シャッタースピード：任意

### ■ Aモード

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定するモードです。



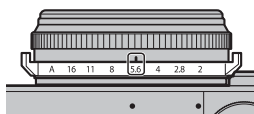
絞り：任意



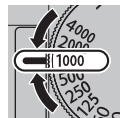
シャッタースピード：A

### ■ Mモード

シャッタースピードと絞り値を撮影者が設定するモードです。



絞り：任意



シャッタースピード：任意

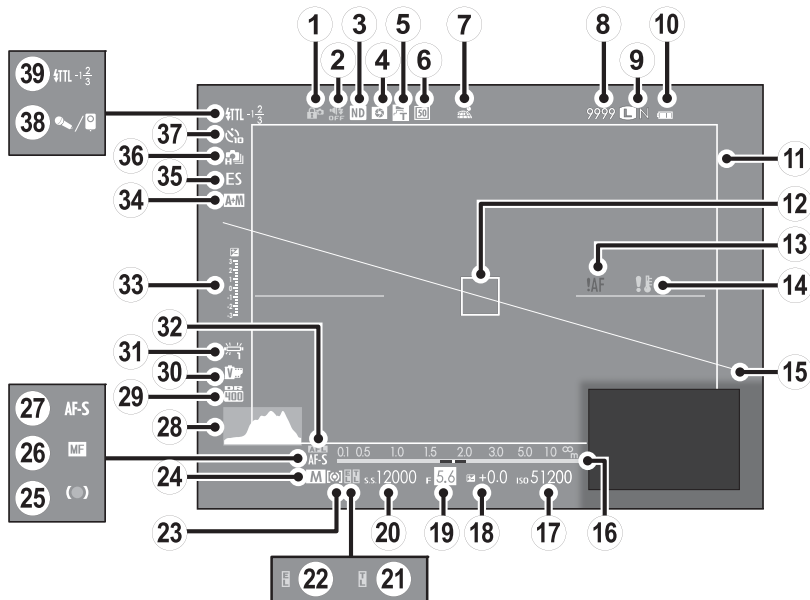
## 画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

- ① 説明のため情報はすべて表示しています。
- ② EVF と LCD ではアスペクト比が異なります。

### 静止画撮影時

#### ■ 光学ファインダー（OVF）




① ボタンロック.....	14	⑩ 距離指標バー.....	79	⑳ ホワイトバランス.....	73
② 電子音 & フラッシュ.....	126	⑪ ISO 感度.....	70	㉑ AF ロック.....	89
③ ND フィルター.....	110	⑫ 露出補正.....	69	㉒ 露出インジケータ.....	61、69
④ 被写界深度確認.....	60	⑬ 絞り値.....	58、60、61	㉓ AF+MF.....	106
⑤ コンバージョンレンズ.....	163	⑭ シャッタースピード.....	58、59、61	㉔ シャッター方式.....	109
⑥ デジタルテレコン.....	62	⑮ TTL ロック.....	57、113	㉕ 連写モード.....	63
⑦ 位置情報取得状態.....	137	⑯ AE ロック.....	89	㉖ セルフタイマー.....	87
⑧ 撮影可能枚数*.....	181	⑰ 測光モード.....	71	㉗ マイク/リモートリリース設定	
⑨ 画像サイズ・画質モード.....	100	⑱ 撮影モード.....	19、58、59、60、61	.....	50、86、116
⑩ バッテリー残量表示.....	33	㉘ 合焦マーク.....	76	㉙ フラッシュ (TTL モード) /	
⑪ プライツフレーム.....	163	㉚ マニュアルフォーカス.....	78	調光補正.....	91
⑫ AF フレーム.....	81、89	㉛ フォーカスモード.....	76		
⑬ AF 警告.....	17、173、178	㉜ ヒストグラム.....	40		
⑭ 温度警告.....	173、180	㉝ ダイナミックレンジ.....	101		
⑮ 電子水準器.....	40	㉞ フィルムシミュレーション.....	72		

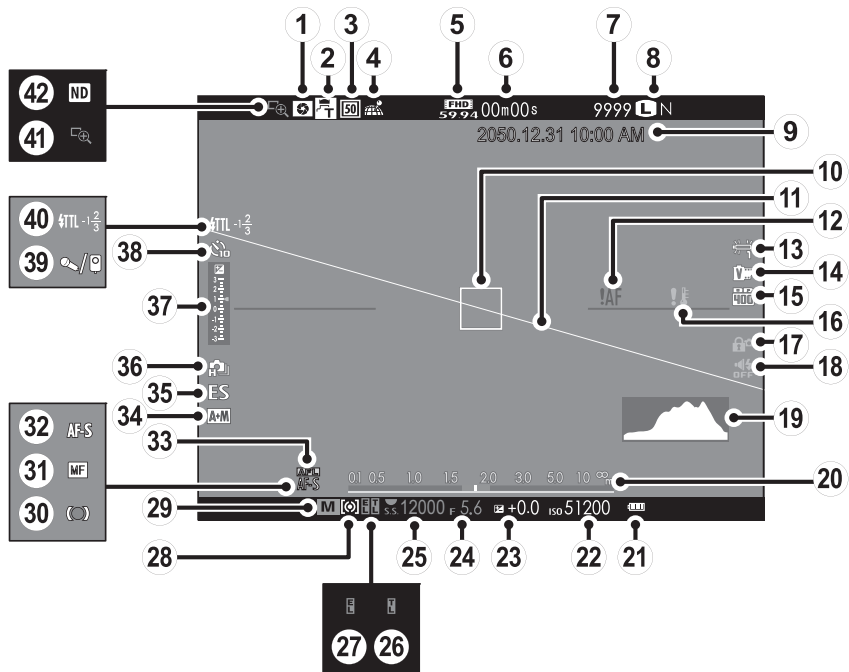
\* 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

#### ● 撮影時のボタンロックについて



**MENU/OK** ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます (図 14)。

■ 電子ビューファインダー（EVF） / 液晶モニター（LCD）




① 被写界深度確認.....	60	⑩ AF フレーム.....	81、89	⑳ マニュアルフォーカス.....	78
② コンバージョンレンズ.....	163	⑪ 電子水準器.....	40	㉑ フォーカスモード.....	76
③ デジタルテレコン.....	62	⑫ AF 警告.....	17、173、178	㉒ AF ロック.....	89
④ 位置情報取得状態.....	137	⑬ ホワイトバランス.....	73	㉓ AF+MF.....	106
⑤ 動画モード.....	49、115	⑭ フィルムシミュレーション.....	72	㉔ シャッター方式.....	109
⑥ 動画撮影の残り時間.....	49	⑮ ダイナミックレンジ.....	101	㉕ 連写モード.....	63
⑦ 撮影可能枚数*.....	181	⑯ 温度警告.....	173、180	㉖ 露出インジケータ.....	61、69
⑧ 画像サイズ・画質モード.....	100	⑰ ボタンロック.....	14	㉗ セルフタイマー.....	87
⑨ 日付・時刻.....	34	⑱ 電子音 & フラッシュ.....	126	㉘ マイク/リモートレリーズ設定.....	50、86、116
⑫ AF フレーム.....	81、89	⑲ ヒストグラム.....	40	㉙ フラッシュ (TTL モード) /	
⑬ 電子水準器.....	40	㉚ 距離指標バー.....	79	調光補正.....	91
⑭ AF 警告.....	17、173、178	㉛ バッテリー残量表示.....	33	㉚ フォーカスチェック.....	79
⑮ ホワイトバランス.....	73	㉜ ISO 感度.....	70	㉛ ND フィルター.....	110
⑯ フィルムシミュレーション.....	72	㉝ 露出補正.....	69		
⑰ ダイナミックレンジ.....	101	㉞ 絞り値.....	58、60、61		
		㉟ シャッタースピード.....	58、59、61		
		㊱ TTL ロック.....	57、113		
		㊲ AE ロック.....	89		
		㊳ 測光モード.....	71		
		㊴ 撮影モード.....	19、58、59、60、61		
		㊵ 合焦マーク.....	76		

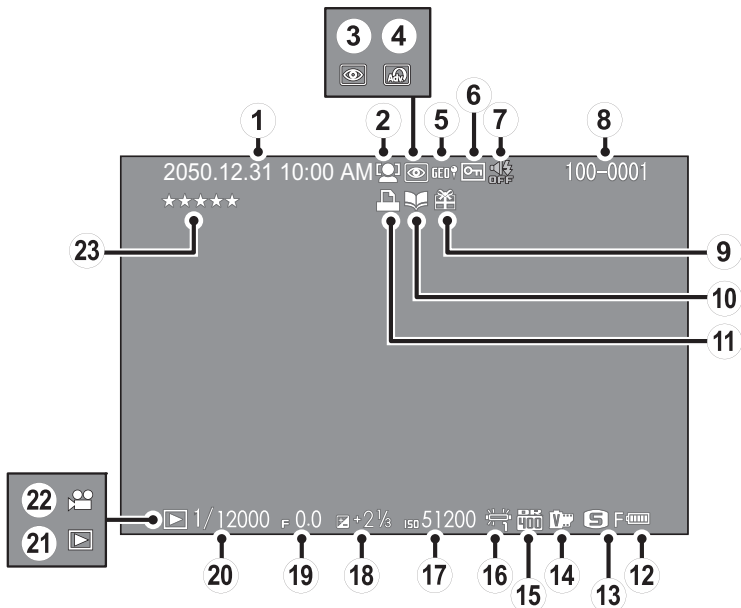
\* 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

#### ● 撮影時のボタンロックについて



MENU/OK ボタン長押しでボタンロックしているときに、ロックされているボタンを押すと  が表示されます (図 14)。

再生時





① 日付・時刻.....	34	⑨ プレゼント.....	43	⑰ ISO感度.....	70
② 顔検出.....	105	⑩ フォトブックアシスト.....	97	⑱ 露出補正.....	69
③ 赤目補正.....	121	⑪ プリント予約.....	148	⑲ 絞り値.....	58、60、61
④ アドバンスフィルター.....	65	⑫ バッテリー残量表示.....	33	⑳ シャッタースピード.....	58、59、61
⑤ 位置情報.....	137	⑬ 画像サイズ・画質モード.....	100	㉑ 再生モード.....	43
⑥ プロテクト.....	120	⑭ フィルムシミュレーション.....	72	㉒ 動画アイコン.....	51
⑦ 電子音 & フラッシュ.....	126	⑮ ダイナミックレンジ.....	101	㉓ お気に入り.....	43
⑧ コマ NO.....	135	⑯ ホワイトバランス.....	73		

### ストラップを取り付ける

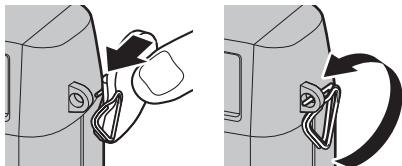
カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

- 1** ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップリングの切りこみを広げます。

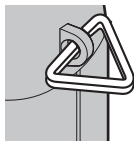


① ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。

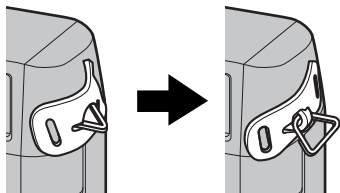
- 2** ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。



- 3** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。

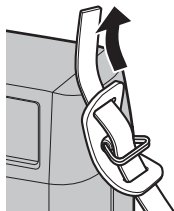


- 4** ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

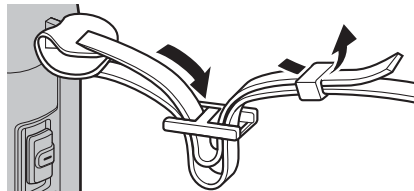


反対側も同様に、手順 1～4 を繰り返して取り付けます。

- 5** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。



- 6** ストラップを止め具に通します。




反対側も同様に、手順 5～6 を繰り返して取り付けます。

- ① ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

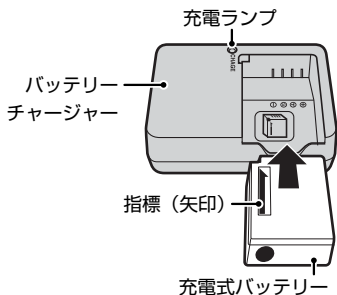
## バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

- お客様がお使いのバッテリーは NP-W126S です。
- 充電時間については、 191 をご確認ください。

### 1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

図のように、指標（矢印）の位置がバッテリーチャージャー内部のイラストと合うように確認してください。



① 付属の AC コードは、バッテリーチャージャー BC-W126 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。

### 2 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。充電ランプが点灯して、充電を開始します。

### 3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

#### ● 充電ランプの表示

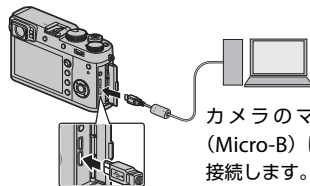
充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください。
	フル充電 (充電終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。

- ① 同梱されている充電器は 100～240V まで対応しており、海外でもご使用頂けます。変換プラグアダプターが必要な場合がありますので、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- ① 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ① バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ① バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ① バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」（P164）を参照してください。
- ① 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ① 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ① バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）には、バッテリーを充電してください。
- ① 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ① バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ① 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ① 低温時は充電時間が長くなることがあります。

### パソコンに接続してバッテリーを充電する

カメラにバッテリーを入れた状態でパソコンに接続すると、バッテリーを充電できます。付属の USB ケーブルでパソコンと接続してください。



カメラのマイクロ USB 端子（Micro-B）に USB ケーブルを接続します。

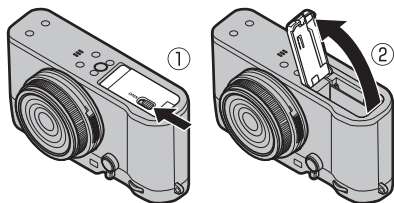
- ① USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- ① 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- ① パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- ① カメラの電源がオンのときは充電できません。
- ◆ インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

## バッテリーとメモリーカードを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

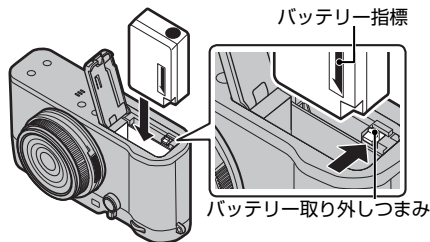
- 1** バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。



- ① カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- ② バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

- 2** バッテリーを入れます。

- 図のように、金色の端子を下にして、指標（矢印）の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認してください。
- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

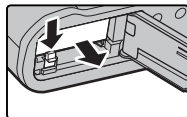


- ① バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- ② バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

### ● バッテリーを取り出すときは

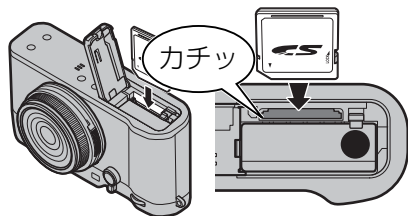
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

- ① 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。



### 3 メモリーカードを入れます。

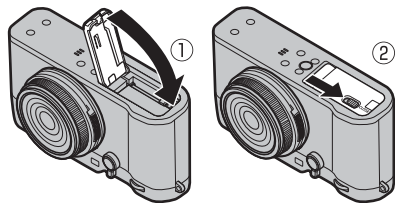
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



- ① メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

### 4 バッテリーカバーを開めます。

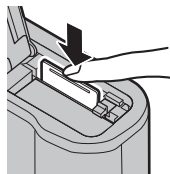
バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開めてください。



- ① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

#### ●メモリーカードを取り出すときは

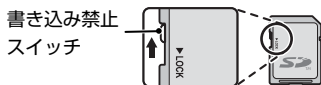
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。



- ① メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押ししてください。
- ② メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

## 使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
  - 動画撮影や連写撮影をするときは、UHS スピードクラス 1 以上のメモリーカードをご使用ください。
  - 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
  - メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

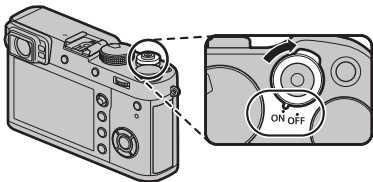



- 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (P.125) してからご使用ください。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどははらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。



## 電源をオンにする / オフにする

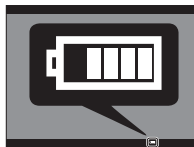
電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。 **OFF** に合わせると、電源がオフになります。










- ◆ 撮影中に  (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
  - ◆ 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
  - ◆ 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** (p.134) では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンの半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。
- ① レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

### ●● バッテリー残量の表示

液晶モニターの表示で、バッテリー残量を確認できます。



表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80% です。
	バッテリーの残量は約 60% です。
	バッテリーの残量は約 40% です。
	バッテリーの残量は約 20% です。
	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。(赤点灯)
	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリー交換してください。(赤点滅)

## 初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

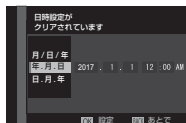
### 1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

### 2 使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。

### 3 年月日の並び順を設定します。

▲▼ で年月日の並び順を選びます。



### 4 年、月、日、時、分を設定します。

- ◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選択できます。
- ▲▼ で設定する数字を変更できます。



### 5 MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。



◆ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

#### ● 設定のスキップ

DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

## 言語、日時を変更する

### 1 基本設定 > 言語/LANG. または日時設定を選びます (p.124、126)。

### 2 言語または日時を設定します。

- 言語設定：▲▼ で使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 日時設定：◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲▼ で設定する数字を選びます。

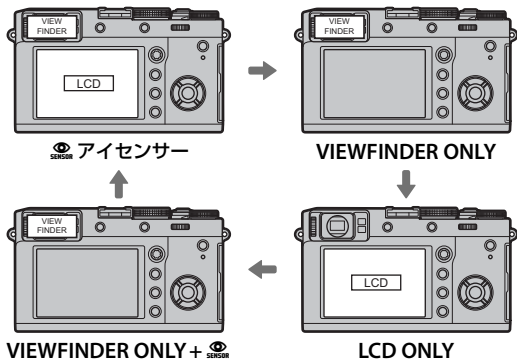
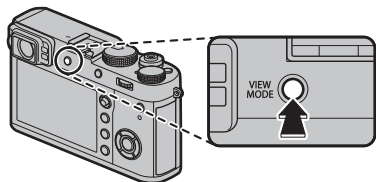
### 3 MENU/OK ボタンを押して、設定します。

## ビューファインダー（OVF/EVF）と液晶モニター（LCD）の表示について

このカメラは、ハイブリッドビューファインダー（光学ファインダー（OVF）、電子ビューファインダー（EVF））と液晶モニター（LCD）を装備しています。

### ビューファインダーと液晶モニターの切り換え

**VIEW MODE** ボタンを押すごとに、液晶モニター（LCD）とビューファインダーの表示が以下のように切り換わります。

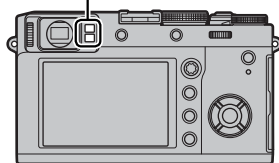


設定	内容
アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り換わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
VIEWFINDER ONLY	ファインダーにのみ表示します。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
VIEWFINDER ONLY + アイセンサー	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。

### アイセンサーについて

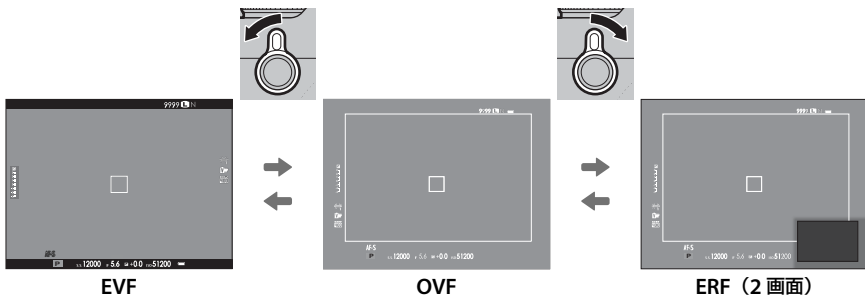
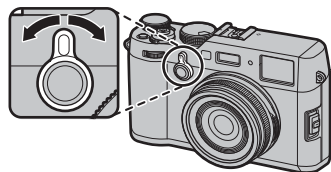
目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。

#### アイセンサー



## ハイブリッドビューファインダーの表示切り換え

ファインダー切換レバーで、ハイブリッドビューファインダーの表示を光学ファインダー（OVF）または電子ビューファインダー（EVF）に切り換えることができます。OVF表示では、電子式レンジファインダー（ERF：2画面表示）にすることもできます。ファインダー切換レバーをそれぞれの方向に引くと、以下のように画面が切り換わります。



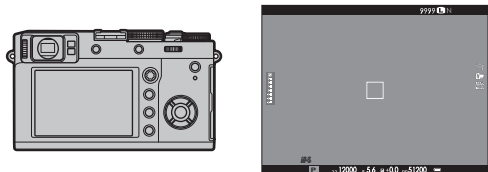
### ● ハイブリッドビューファインダー（OVF/EVF/ERF）について

OVF/EVF/ERFにはそれぞれ以下の特徴があります。

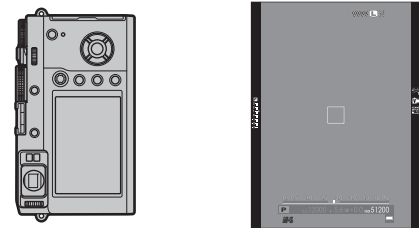
画面	説明
OVF	<ul style="list-style-type: none"><li>光学式であるため、被写体をクリアに見ることができます。また、被写体がボケないので、いつでも表情を確認できます。</li><li>写る範囲の少し外まで見えるため、フレーミングがしやすくなっています。</li><li>ファインダーとレンズが別の場所についているため、視差（バララックス）が発生し、ファインダーで見た構図と若干異なって撮影されることがあります。</li></ul>
EVF	<ul style="list-style-type: none"><li>撮影後の画像をファインダーで確認できます。</li><li>ファインダー視野率約100%のため、いつでも正確にフレーミングができます。</li><li>ピントや被写界深度、明るさ、ホワイトバランスをライブビューで確認できます。</li></ul>
ERF（2画面）	光学ファインダー上でピントの確認ができます。画面の右下にピント位置などを拡大表示します。

## EVF の縦表示について

☑ **表示設定 > EVF 縦横自動回転表示** (📖 130) が ON のときは、撮影時にカメラを縦向きにすると、ファインダーの表示が縦向きになります。



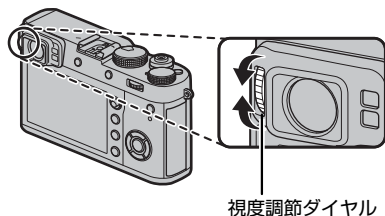
↓ 縦向きに回転



① 液晶モニター（LCD）の表示は、縦向きにはなりません。

## 視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。調節できる視度の範囲は  $-2 \sim +1 \text{ m}^{-1}$  (dpt) です。



視度調節ダイヤル

## EVF 明るさ・EVF 鮮やかさ調整

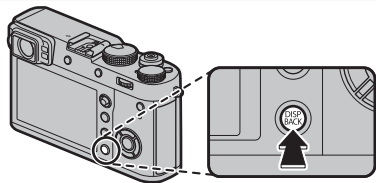
☑ **表示設定 > EVF 明るさ、EVF 鮮やかさ** (📖 129) でファインダー（EVF）の明るさや鮮やかさを調整できます。

## LCD 明るさ・LCD 鮮やかさ調整

☑ **表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ** (📖 129) で液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整できます。

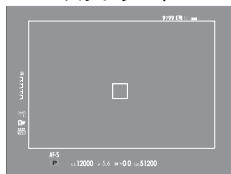
## 情報表示について

撮影モードまたは再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り換わります。



### 撮影時：OVF

スタンダード



情報表示なし



### 撮影時：EVF

スタンダード



情報表示なし

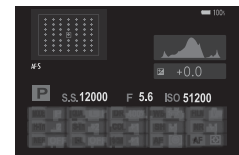


### 撮影時：LCD

スタンダード



情報表示なし



INFO 画面

## ■ スタンダード画面のカスタマイズについて

撮影時のスタンダード画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ** (131) で選択できます。OVF と EVF/LCD のそれぞれを個別に設定できます。

**1** DISP/BACK ボタンを押して、スタンダード (情報表示あり) 画面に切り換えます。

**2** セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ** を選びます。

**3** OVF または EVF/LCD のいずれかを選び、MENU/OK ボタンを押します。

**4** 表示したい項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。

画面に表示する項目は、 が表示されます。 が表示されている状態で MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	OVF	EVF	表示項目	OVF	EVF	表示項目	OVF	EVF	表示項目	OVF	EVF
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	絞り / シャッター速度 / ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	動画モード & 録画時間	—	<input checked="" type="checkbox"/>
電子水準器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	情報表示背景	—	<input checked="" type="checkbox"/>	連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	デジタルテレコン	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	露出補正表示	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コンバージョンレンズ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
AF 時の距離指標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	露出補正ゲージ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	フィルムシミュレーション	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	バッテリー残量表示	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
MF 時の距離指標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	フォーカスモード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ダイナミックレンジ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	画面枠	—	<input type="checkbox"/>
ヒストグラム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	測光	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	※ 項目の右側は工場出荷時の状態		
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	シャッター方式	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	画像サイズ & 画質モード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			

**5** 各項目を設定し、DISP/BACK ボタンを押します。  
設定が保存されます。

**6** DISP/BACK ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

表示される場所は 20 をご覧ください。

## 再生時：EVF/LCD

### スタンダード



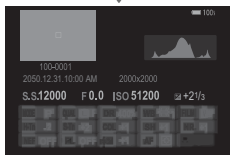
### 情報表示なし



### お気に入り



### INFO 画面

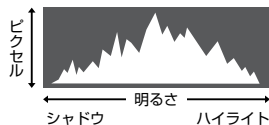


### 画面枠について

背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに画面枠をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

### ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ／縦軸：ピクセル数）に表したものです。



**適正露出の場合：**全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。



**露出オーバーの場合：**ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。



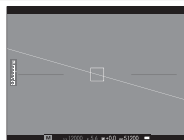
**露出アンダーの場合：**シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



① 被写体によってグラフ形状は異なります。

### 電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。



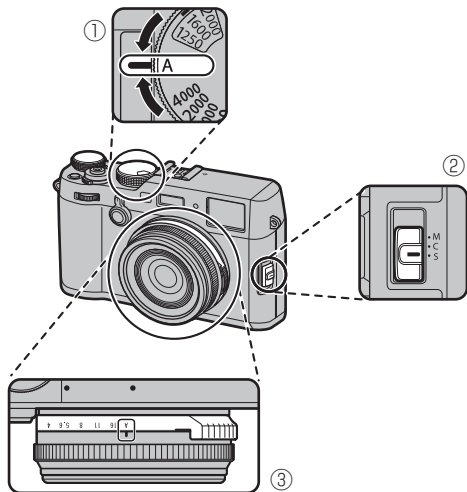
❖ カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。



## 静止画を撮影する

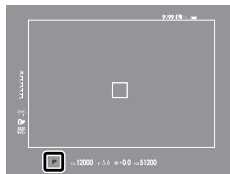
ここでは、プログラム（P）撮影の基本的な流れを説明します。その他のモード（S、A、Mモード）の撮影方法は「撮影モードを変更したい」をご覧ください（p.58）。

**1** カメラの設定をプログラム（P）撮影の設定にします。

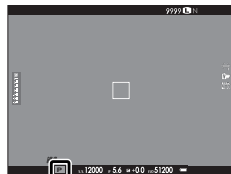


- ① シャッタースピード : A (オート)
- ② フォーカスモード : S (シングル AF)
- ③ 絞り設定 : A (オート)

表示画面に **P** が表示されます。



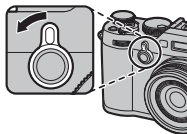
OVF 画面



EVF/LCD 画面

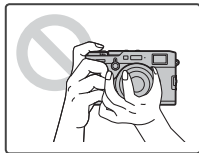
### ● OVF 画面と EVF/LCD 画面について

ファインダーを覗いたときは、ファインダー切換レバーで、ハイブリッドビューファインダーの表示を光学ファインダー（OVF）または電子ビューファインダー（EVF）に切り換えることができます。



## 2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



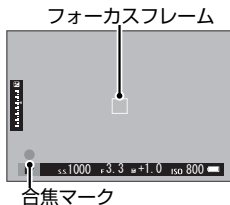
## 3 構図を決めます。

## 4 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。



### ピントが合ったとき

- ピピッと音が鳴り、フォーカスフレームが緑色に点灯します。
- 合焦マークが緑色に点灯します。



### ピントが合わないとき

- フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。
- 合焦マークが白色に点滅します。
- ◆ 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光 (105) が発光する場合があります。
- ◆ シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。
- ◆ レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

## 5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます (全押しします)。

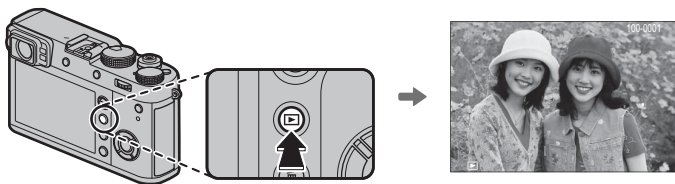


- ◆ 暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光する場合があります。フラッシュは発光しないように設定を変更できます (91)。


## 静止画を再生する

### 1 コマ再生

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。



1つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るには ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。

- ◆ フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- ◆ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりすることがあります。

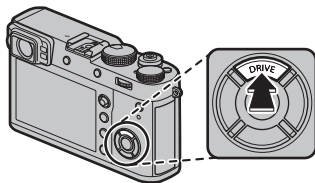
#### ★ お気に入りを設定する

1コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、★ お気に入りのランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で★の数(0～5)を設定します。

静止画を再生する

## 撮影時の情報確認

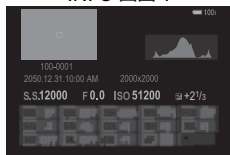
1コマ再生時に撮影時の情報を確認できます。▲を押すごとに、表示が切り換わります。



1コマ再生

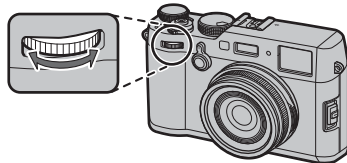


INFO画面1



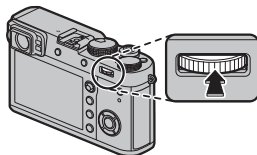
INFO画面2

◆ フロントコマンドダイヤルを回すと、前後の画像に切り換えることができます。



### ● ピントの位置を拡大表示する

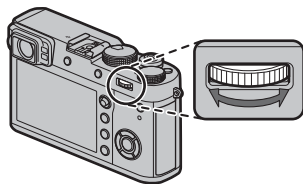
リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1コマ再生に戻ります。



## 再生ズーム

1 コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

- ◆ 1 コマ再生画面でリアコマンドダイヤルを左に回すと、「マルチ再生」の9コマ画面になります ( 46 )。



- ◆ 最大ズーム倍率は、設定した **画質設定 > 画像サイズ** ( 100 ) によって変わります。
- ◆ **再生メニュー > リサイズ** ( 120 ) または **トリミング** ( 119 ) の **640** で保存された画像は、再生ズームは使えません。

### ナビゲーションについて



ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

拡大表示中に ▲▼◀▶ で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

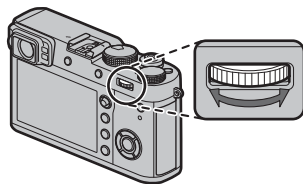


- ◆ フロントコマンドダイヤルで拡大画面のまま前後の画像に切り換えることができます。

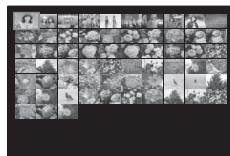
## マルチ再生

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクログサムネイル）の一覧を表示できます。

◆ 1コマ再生画面でリアコマンドダイヤルを右に回すと拡大画像が表示されます（図45）。



リアコマンドダイヤルを左に回すたびに表示される画像が増えます。




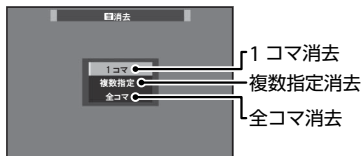
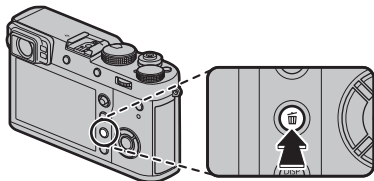
リアコマンドダイヤルを右に回すたびに表示される画像が減ります。

- ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- ▲または ▼ でページを切り換えることもできます。

## 画像を消去する

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。


1コマ再生時に  ボタンを押して、消去方法を選びます。



- ◆ プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (p.120)。
- ◆ **再生メニュー** > **消去** (p.119) でも、画像を消去できます。

### 1コマ消去

画像を1コマだけ消去します。

- 1 1コマ再生中に  ボタンを押して、1コマを選びます。



- 2 消去する画像を **◀** または **▶** で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。



- ◆ **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- ◆ **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を **◀** または **▶** で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

## 複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

◆ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❶ が表示されます。



❶ 1コマ再生中に ⏮ ボタンを押して、複数指定を選びます。



❷ 消去する画像を ▲▼◀▶ で選んで MENU/OK ボタンを押すと、選択されます。



- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。



❸ まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACK ボタンを押します。消去実行画面が表示されます。



❹ 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



## 全コマ消去

画像がすべて消去されます。

❶ 1コマ再生中に ⏮ ボタンを押して、全コマを選びます。



❷ 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。



◆ DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

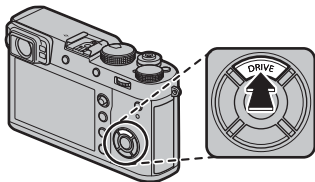
◆ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。MENU/OK ボタンを押すと、その画像を消去します。



## 動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

- 1** **DRIVE (▲)** ボタンを押します。  
ドライブモード設定画面が表示されます。



- 2** **MOVIE (動画)** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
動画のスタンバイ画面が表示されます。

- 3** シャッターボタンを全押しします。  
動画撮影が開始されます。

撮影中は、**●** が表示されます。



動画撮影の残り時間  
(カウントダウン) が  
表示されます。

- ① 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。

- 4** もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ◆ 撮影する動画の画像サイズ・フレームレートは、**動画設定 > 動画モード** (p.115) で変更できます。
- ◆ 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換スイッチで設定します (p.76)。フォーカスモードを **S** にしても、**フォーカス設定 > 顔検出/瞳AF設定** (p.105) の **顔検出** が **ON** のときは、自動的にコンティニューAFになります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔検出** を **ON** にしても顔検出は行われません。
- ◆ OVF または ERF 設定時にドライブモードを動画にすると、自動的に EVF になります。

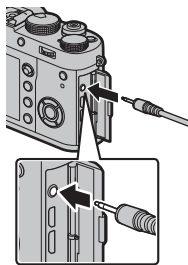
- ① 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は  $\pm 2$  の範囲となります。
- ① 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- ① 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- ① 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

### ● 背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。絞りを **A** 以外に設定し、絞り値を調整します。絞り値の設定は動画撮影前に行ってください。


## 外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。




① 外部マイクのプラグはバスパワーを必要としないφ2.5 mmピンで取り付けるものをご使用ください。

◆ 詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。

◆ マイク/リモートリリース端子に外部マイクを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定**を  **マイク** に設定してください。

マイク/リモートリリースの  
設定を確認してください  
OK▶決定 BACK▶スキップ

## 動画を再生する

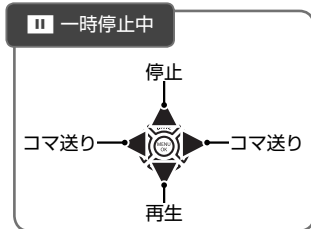
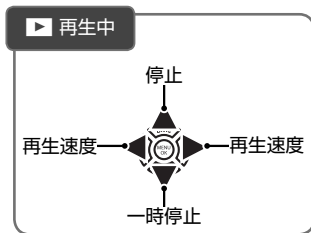
画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。



動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



### 動画再生時の操作方法について



再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲または▼を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量** (図 128) でも設定できます。

- ① スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。
- ② **基本設定 > 電子音 & フラッシュがOFF** の場合 (図 126) は、音声は再生されません。

#### ● 動画の再生速度について

◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶ (◀) の数で表示されます。▶ (◀) の数が多いほど速度が速くなります。

#### 再生アイコン



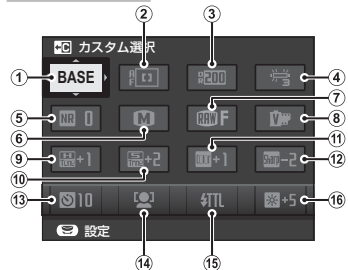


# Q (クイックメニュー) ボタン

## Q メニューを使う

Q ボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。

### 画面について



工場出荷時の設定値	
①	カスタム選択
②	AF モード
③	ダイナミックレンジ
④	ホワイトバランス
⑤	ノイズリダクション
⑥	画像サイズ
⑦	画質モード
⑧	フィルムシミュレーション

工場出荷時の設定値	
⑨	ハイライトトーン
⑩	シャドウトーン
⑪	カラー
⑫	シャープネス
⑬	セルフタイマー
⑭	顔検出 / 瞳 AF 設定
⑮	フラッシュ機能設定
⑯	EVF/LCD 明るさ

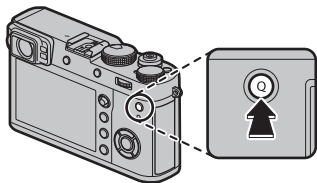
各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ換えることができます ( 54)。

カスタム選択 (①) には、カスタム設定の読み込み状態が表示されます。

- ・ **BASE** : カスタム設定を読み込んでいないときに表示します。
- ・ **C1 ~ C7** : **画質設定 > カスタム登録 / 編集** で登録されたカスタム設定を表示します ( 96)。
- ・ **BASE** ~ **BASE** : 読み込まれたカスタム設定を表示します。

## 設定の確認と変更

- 1** 撮影画面で Q ボタンを押します。  
クイックメニューが表示されます。



- 2** 設定を変更するメニュー項目を  
▲▼◀▶ で、選びます。



- 3** リアコマンドダイヤルで設定値を選び  
ます。



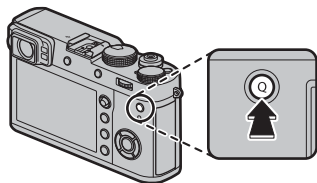
- ◆ 各設定内容を変更して読み込めますが、カスタム登録設定内容は変更できません ( 52 )。
- ◆ **C1** ~ **C7** を選択中にカスタム登録項目を変更すると赤いマークがつきます。

- 4** Q ボタンを押します。  
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

## クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

- 1 撮影画面で **Q** ボタンを長押しします。  
クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



- 2 ▲▼◀▶ で割り当てを変更するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

メニューの割り当て設定画面が表示されます。割り当てられるメニューは次のとおりです。

- |                                    |                                     |                                  |                                    |
|------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 画像サイズ        | <input type="radio"/> シャドウトーン       | <input type="radio"/> MF アシスト    | <input type="radio"/> フラッシュ調光補正    |
| <input type="radio"/> 画質モード        | <input type="radio"/> カラー           | <input type="radio"/> セルフタイマー    | <input type="radio"/> 動画モード        |
| <input type="radio"/> フィルムシミュレーション | <input type="radio"/> シャープネス        | <input type="radio"/> 測光         | <input type="radio"/> マイクレベル設定     |
| <input type="radio"/> グレイン・エフェクト   | <input type="radio"/> ノイズリダクション     | <input type="radio"/> シャッター方式    | <input type="radio"/> 電子音&フラッシュ    |
| <input type="radio"/> ダイナミックレンジ    | <input type="radio"/> カスタム選択        | <input type="radio"/> コンバージョンレンズ | <input type="radio"/> EVF/LCD 明るさ  |
| <input type="radio"/> ホワイトバランス     | <input type="radio"/> AF モード        | <input type="radio"/> ND フィルター   | <input type="radio"/> EVF/LCD 鮮やかさ |
| <input type="radio"/> ハイライトトーン     | <input type="radio"/> 顔検出 / 瞳 AF 設定 | <input type="radio"/> フラッシュ機能設定  | <input type="radio"/> なし           |

▼ 印はカスタム登録が可能なメニューです。

▼ なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

▼ カスタム選択を選ぶと、クイックメニューには **BASE** と表示され、現在の設定を表しています。

- 3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。

▼ クイックメニューの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > クイックメニュー登録 / 編集** (132) から設定できます。



## Fn (ファンクション) ボタン

### ファンクションボタンを使う

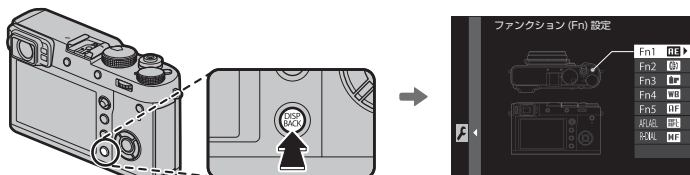
ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。ファンクションボタンを押すだけで機能を切り換えたり、設定画面を呼び出したりできます。工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は以下のとおりです。

Fn1 ボタン	Fn2 ボタン	Fn3 ボタン	Fn4 ボタン
測光 ( 80 )	コントロールリング設定 ( 18 )	フィルムシミュレーション ( 72 )	ホワイトバランス ( 73 )

Fn5 ボタン	AEL/AFL ボタン	リアコマンドダイヤル中央押し
AF モード ( 80 )	AE/AF LOCK ( 90 )	フォーカスチェック ( 77 )

## ファンクションボタンの割り当て変更

DISP/BACK ボタンを長押しすると、ファンクションボタンの割り当て設定画面を表示できます。



**Fn (ファンクション) ボタン** ▲▼ で、割り当てを変更するファンクションボタンを選んで、割り当てる機能を変更してください。割り当てられる機能は次のとおりです。

- |               |                |                       |
|---------------|----------------|-----------------------|
| ・画像サイズ        | ・顔検出 / 瞳 AF 設定 | ・マイクレベル設定             |
| ・画質モード        | ・セルフタイマー       | ・被写界深度確認              |
| ・RAW          | ・測光            | ・マニュアル時モニター露出 / WB 反映 |
| ・フィルムシミュレーション | ・シャッター方式       | ・モニター撮影効果反映           |
| ・グレイン・エフェクト   | ・感度 AUTO 設定    | ・AE LOCK のみ           |
| ・ダイナミックレンジ    | ・コンバージョンレンズ    | ・AF LOCK のみ           |
| ・ホワイトバランス     | ・ND フィルター      | ・AE/AF LOCK           |
| ・カスタム選択       | ・ワイヤレス通信       | ・コントロールリング設定          |
| ・フォーカスエリア選択   | ・フラッシュ機能設定     | ・再生モード                |
| ・フォーカスチェック    | ・TTL-LOCK      | ・なし                   |
| ・AF モード       | ・モデリング発光       |                       |

◆ なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

◆ ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** (p.132) から設定できます。




### ファンクションボタン長押し

それぞれのファンクションボタンを長押しすると、それぞれのボタンの割り当て設定画面を表示できます。

◆ フォーカスチェック、AE LOCK のみ、AF LOCK のみ、AE/AF LOCK を割り当てているボタンは、長押ししても割り当て設定画面は表示されません。

### ■ TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、 フラッシュ設定 > TTL-LOCK モードで設定されているモードでロックできます (113)。

### ■ モデリング発光の割り当て

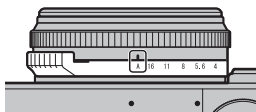
モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、撮影前に、被写体の影の出かたなどを確認するためのモデリング発光を行えます。



## 撮影モードを変更したい

### プログラム (P)

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。プログラムで撮影するには、絞り設定を **A**、シャッタースピードダイヤルを **A** に設定します。



絞り : A



シャッタースピード : A

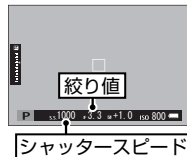
表示画面に **P** が表示されます。



- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「—」と表示されます。

### プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。

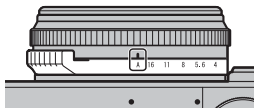


- ◆ 電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

- ① 次のとき、プログラムシフトは使用できません。
- フラッシュ設定が発光禁止以外のとき
  - **画質設定 > ダイナミックレンジ** (101) が **AUTO** のとき

## シャッタースピード優先 (S)

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。シャッタースピード優先で撮影するには、絞り設定を **A**、シャッタースピードダイヤルを撮影したいシャッタースピードに設定します。

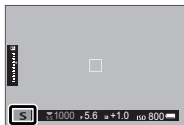


絞り：A



シャッタースピード：任意

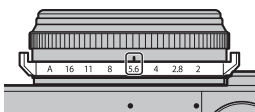
表示画面に **S** が表示されます。



- ◆ リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを 1/3 段刻みで微調整できます。
  - ◆ シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。
- ① 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
  - ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。

## 絞り優先 (A)

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。絞り優先で撮影するには、シャッタースピードダイヤルを **A** に、絞りを撮影したい絞り値に設定します。



絞り：任意



シャッタースピード：A

表示画面に **A** が表示されます。

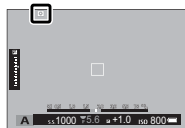


◆ シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。

- ① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- ② 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。

## 被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます ( 図 56)。割り当てたファンクションボタンを押すと、そのときの絞り値の被写界深度が確認できます。



◆ 被写界深度を確認するには、以下の設定が必要です ( 図 39)。

- **表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に  を入れる。
- **DISP/BACK** ボタンを押して、**スタンダード** (情報表示あり) 画面に切り換える。

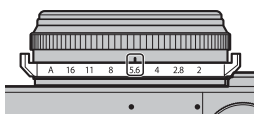


被写界深度

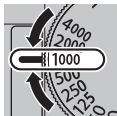
◆ 被写界深度のスケール (ゲージ) の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール** ( 図 107) で設定できます。**フィルム基準**はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、**ピクセル基準**はパソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

## マニュアル (M)

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。絞りを設定したい絞り値に、シャッタースピードを撮影したいシャッタースピードに設定します。

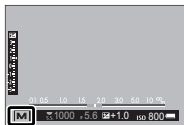


絞り：任意



シャッタースピード：任意

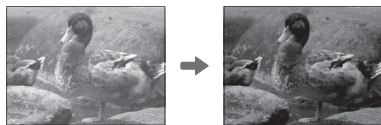
表示画面に **M** が表示されます。



- ◆ リアコマンドダイヤルでシャッタースピードを1/3段階みで微調整できます。
- ◆ シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードや絞りを変更できます。

### 露出設定プレビューについて

**表示設定 > マニュアル時モニター露出/WB反映** (p.130) が **OFF** 以外のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。



- ◆ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出/WB反映**を **OFF** にしてください。

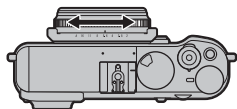
## デジタルテレコンを使って撮影したい

デジタルテレコンを使うと、異なる焦点距離の拡大画像をデジタル超解像処理によって撮影できます。

**1** コントロールリングの設定をデジタルテレコンに割り当てます ( 18 )。

**2** コントロールリングで、拡大倍率を選びます。

コントロールリングを回すと、画面の中央を中心に画面が拡大表示されます。



通常 (35mm\*)

\* 35mm 判フィルム換算



50mm\*



70mm\*

**3** 撮影します。

拡大表示された状態が撮影されます。

◆ デジタルテレコンは **撮影設定 > デジタルテレコン**からも設定できます ( 110 )。

◆ テレコンバージョンレンズ装着時の拡大表示は **72mm** と **100mm**、ワイドコンバージョンレンズ装着時の拡大表示は **41mm** と **58mm** になります。

① デジタルテレコンを使うと、画質が劣化する場合があります。

① RAW 画像が設定されているときは、デジタルテレコンに設定できません。

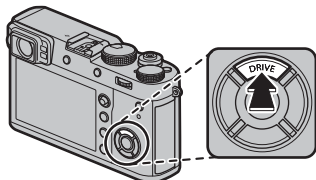
① デジタルテレコンに設定しているときに RAW 画像を選ぶと、デジタルテレコンは解除されます。

① 撮影モードによっては、デジタルテレコンが解除されたり、選択できない場合があります。

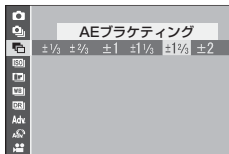
## いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブモード）

ドライブモードには、いろいろな仕上がりの画像が撮影できるモードがあります。

- 1** **DRIVE** (▲) ボタンを押します。  
ドライブモード設定画面が表示されます。



- 2** ▲▼ で使用するドライブモードを選びます。



ドライブモード		📖
📷 1 コマ撮影	—	
📷 連写	64	
📷 AE ブラケティング	64	
ISO ISO ブラケティング	64	
📷 フィルムシミュレーション BKT	65	
WB ホワイトバランス BKT	65	
DR ダイナミックレンジ BKT	65	
Adv. モード		
📷 パノラマ	66	
📷 多重露出	68	
Adv. アドバンスフィルター	65	
📷 動画	49	

- 3** ◀▶ で設定値を選びます。
- 連写：連写速度を選びます。
  - AE/ISO/WB ブラケティング：変化量を選びます。
  - Adv. モード：モードを選びます。
  - アドバンスフィルター：フィルターを選びます。
- 4** **MENU/OK** を押します。  
ドライブモードの種類と設定が決定されます。
- 5** 撮影します。

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブモード）

## 📷 連写

シャッターボタンを押し続けている間、連写速度に応じたコマ数で連続撮影します。

- ① 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます（📖 135）。
- ① 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- ① 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- ① シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- ① 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しない場合があります。
- ① 連続撮影では、撮影したファイルを記録する時間が長くなることがあります。

### ● ピントや露出について

ピントや露出を自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。

- ① その他の設定で連写撮影すると、ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- ① **連写 1** (8.0fps) でフォーカスモードが **C** のときは、選択できるフォーカスエリアが異なります（📖 84）。
- ① 絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、ピントや露出の自動調整が有効にならない場合があります。

## 📷 AE ブラケットング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出：📖 69）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3 コマ連続で撮影します。設定値は  $\pm 1/3$  ～  $\pm 2$  の範囲で選べます。

- ① アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した設定値きざみで撮影されません。

## 📷 ISO ブラケットング

撮影した 1 枚の画像から、ISO 感度（📖 70）を変化させて 3 枚の画像を作成します。ISO 感度の変化する段階は、設定感度 ISO200 ～ 12800 までの間で  $1/3$  段階ずつステップ幅を変更できます。

設定	説明
$\pm 1$	ステップを 1 段に設定します。
$\pm 2/3$	ステップを $2/3$ 段に設定します。
$\pm 1/3$	ステップを $1/3$ 段に設定します。



## 📷 フィルムシミュレーションブラケティング

撮影した1枚の画像から、フィルムシミュレーション（📖 72）の設定をそれぞれ選んだ設定に変化させて3枚の画像を作成します。

- ❖ 変化させるフィルムシミュレーションのそれぞれの設定は、📷 撮影設定 > フィルムシミュレーションBKT（📖 108）で変更します。

## WB ホワイトバランスブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、選んだホワイトバランス（📖 73）の色温度を、設定したステップずつ変化させて3枚の画像を作成します。

設定	説明
± 3	3ステップずつ変化させます。
± 2	2ステップずつ変化させます。
± 1	1ステップずつ変化させます。

## DR ダイナミックレンジブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジ（📖 101）の設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

- ❖ 感度を固定値に設定しているときは自動的にISO 800以上になり、感度を **AUTO1** ~ **3** に設定しているときはISO 200 ~ 800になることがあります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、感度は元の設定に戻ります。

## Adv アドバンストフィルター

以下のフィルター効果を選べます。

アドバンストフィルター	効果
📷 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
📷 ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
📷 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
📷 ハイキー	全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。
📷 ローキー	全体を暗く落ち着いた感じつつ、ハイライト部を強調します。
📷 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
📷 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。
📷 パートカラー（レッド）	特定の色域（カッコ内の色）だけを残し、残りをモノクロにします。
📷 パートカラー（オレンジ）	
📷 パートカラー（イエロー）	
📷 パートカラー（グリーン）	
📷 パートカラー（ブルー）	
📷 パートカラー（パープル）	

- ❖ 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならなかったりする場合があります。

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブモード）

## パノラマ

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。

**1** ドライブモードで **Adv.>** （パノラマ）を選びます（[図63](#)）。

**2** 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

◀ で撮影画角変更画面を選択できます。撮影する画角の大きさを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

**3** 撮影方向を選びます。

▶ で撮影方向を選択できます。撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

**4** シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

**5** 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

◆ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されることがあります。



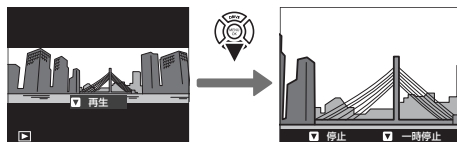
### うまく撮影するには

- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。

- ① 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- ① 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- ① 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- ① カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- ① 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
  - ① 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
    - 被写体が動いている
    - 被写体とカメラの距離が近すぎる
    - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
    - 波や滝など常に模様に変化する風景
    - 明るさが大きく変動するシーン
  - ① 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。

## パノラマ画像の再生

1コマ再生時にパノラマ写真を選択して▼を押すと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



- ◆ パノラマ写真を1コマ再生しているときは、リアコマンドダイヤルを回して拡大/縮小表示できます。
- ◆ パノラマ再生時の操作は、セレクトボタンで行います。


	1コマ再生時	再生中	一時停止中
▲（上）	—	停止	
▼（下）	再生	一時停止	再生
◀▶（左右）	—	コマ送り	

いろいろな仕上がりの画像を撮影したい（ドライブモード）

## 多重露出

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。



**1** ドライブモードで **Adv.>** （多重露出）を選びます（[p.63](#)）。

**2** 1枚目の画像を撮影します。

**3** MENU/OK ボタンを押します。

2枚目の撮影画面が表示されます。



- ◆ 1枚目の画像を撮り直す場合は **◀** を押してください。
- ◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

**4** 2枚目の画像を撮影します。



- ◆ 1枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら2枚目の画像の位置を調整してください。

**5** MENU/OK ボタンを押します。

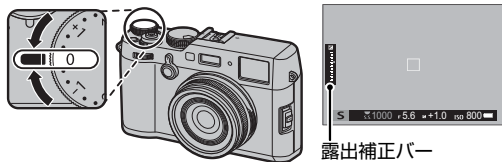
2枚の画像を合成した画像が保存されます。



- ◆ 2枚目の画像を撮り直す場合は **◀** を押してください。

## 露出を補正したい

画像の明るさを調整できます。露出補正ダイヤルを回して、露出を補正します。



+補正

(暗い画像を明るくします)



-補正

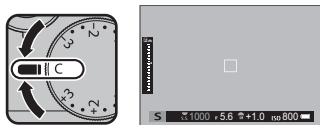
(明るい画像を暗くします)



① モードによって補正段数が制限されることがあります。

## ■C (カスタム) について

露出補正ダイヤルをCの位置にすると、フロントコマンドダイヤルを回して露出を補正できます。



◆ フロントコマンドダイヤルによる露出補正では、 $\pm 5$ の範囲で補正が可能になります。

◆ フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、フロントコマンドダイヤルの機能をISO感度に切り換えることができます (p.16)。

### ● 露出補正の目安

・ 逆光の人物撮影：

+ $\frac{2}{3}$ EV ~ +1 $\frac{1}{3}$ EV



・ スキー場などの反射が強く明るい場所：+1EV



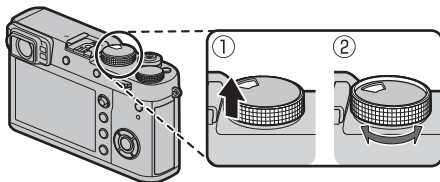
・ 画像の大部分を空が占める場合：+1EV

・ スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：  
- $\frac{2}{3}$ EV

・ 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：- $\frac{2}{3}$ EV

## ISO 感度を変更したい

光に対する ISO 感度を **100** ～ **51200** の間で変更できます。シャッタースピード/感度ダイヤルを引き上げてからダイヤルを回して、ISO 感度を設定します。

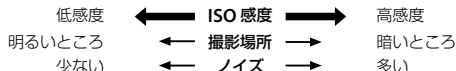


設定	説明
A (オート)	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。☑ <b>撮影設定 &gt; 感度 AUTO 設定</b> で <b>AUTO1</b> 、 <b>AUTO2</b> 、 <b>AUTO3</b> の設定を選びます ( 110 )。
12800 ~ 200	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H(51200) H(25600) L(100)	拡張感度を設定できます ( 132 )。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

- ☑ **操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (A)** をコマンドに設定して、ISO 感度を **A** にするとフロントコマンドダイヤルで ISO 感度を変更できます ( 132 )。
- ☑ ISO 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

### ISO 感度の設定について

ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。

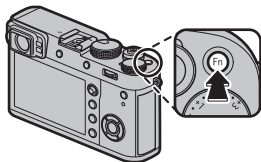


## 明るさの測定方法を変更したい（測光モード）






カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

① 測光モードを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** (📖 105) を **OFF** にしてください。

**1** ファンクション (Fn1) ボタンを押します。  
測光モードの設定画面が表示されます。



**2** 測光モードを選びます。

設定	説明
 (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  (マルチ) をおすすめします。
 (中央部重点)	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

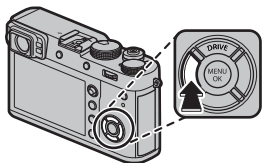
**3** MENU/OK ボタンを押します。  
測光モードが設定されます。

◆ **撮影設定 > 測光** (📖 108) から測光モードを変更できます。

# フィルムシミュレーションを使って撮影したい

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。

- 1** ファンクション (Fn3) ボタンを押します。  
フィルムシミュレーション設定画面が表示されます。



- 2** フィルムシミュレーションの設定値を選びます。

設定	説明
PROVIA/ スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
ASTIA/ ソフト	肌のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
クラシック クローム	発色をおさえて暗部のコントラストを高め、落ち着いた表現に適しています。
PRO Neg. Hi	PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めています。屋外でのポートレートに適しています。
PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適したモードです。

設定	説明
ACROS *	質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに <b>Ye</b> 、 <b>R</b> 、 <b>G</b> のフィルターを選んでコントラストを調整します。
モノクロ *	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。さらに <b>Ye</b> 、 <b>R</b> 、 <b>G</b> のフィルターを選んでコントラストを調整します。
セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。

\* 選んだフィルターの補色の色が濃くなります。**Ye** フィルターは青から紫系が濃くなり、**R** フィルターは青から緑系が深くなります。**G** フィルターは赤系、肌色系が深くなるので人物撮影などに適しています。

- 3** MENU/OK ボタンを押します。  
フィルムシミュレーションが設定されます。

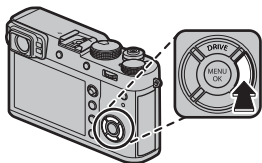
- ◆ フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です (P.102)。
- ◆ **画質設定 > フィルムシミュレーション** (P.101) からフィルムシミュレーションを選べます。



## ホワイトバランスを変更したい

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

- 1** ファンクション (Fn4) ボタンを押します。  
ホワイトバランスの設定画面が表示されます。



- 2** ▲▼ でホワイトバランスを選びます。

- MENU/OK ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。
- ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。
- DISP/BACK ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。



### ■ ホワイトバランスの設定


設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 <b>AUTO</b> をおすすめします。
1 2 3	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します ( 74 )。
<b>K</b>	色温度を設定します ( 75 )。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

- ◆ 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- ◆ フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください ( 91 )。
- ◆ **画質設定 > ホワイトバランス** ( 101 ) からホワイトバランスを選べます。

## ■ カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

- ◆ 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

**1** ホワイトバランスの設定画面から  を選びます。

**2** 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。



- ◆ MENU/OK ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。



**3** シャッターボタンを全押しして設定します。

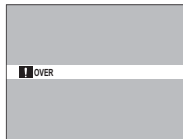


- ◆ 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

**4** 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。



「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。



「OVER」と表示されたときは-（マイナス）側に、「UNDER」と表示されたときは+（プラス）側に露出補正 (P.69) してから、再度測定してください。

## ■ K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

◆ 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

- 1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。  
色温度の一覧が表示されます。



- 2 ▲▼ で色温度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
**WB シフト** 画面が表示されます。

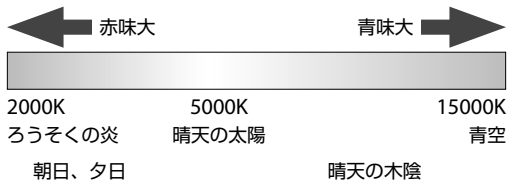


◆ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** ボタンを押してください。

- 3 ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押します。  
色温度が設定されます。

## ● 色温度について

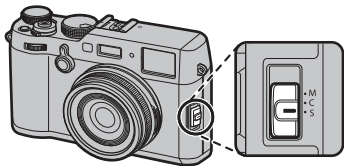
色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



## ピントに関する設定を変更したい

### ピント合わせの方法を変更（フォーカスモード）

フォーカスモード切換スイッチで、ピント合わせの方法を変更できます。



設定	説明
<b>S</b> (シングル AF)	スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
<b>C</b> (コンティニュアス AF)	シャッターボタンを半押しすると常にピントを合わせ続けるため、動きのある被写体の撮影に適しています。
<b>M</b> (マニュアルフォーカス)	ピントを手動で合わせたいときに使用します(図 78)。オートフォーカスの苦手な被写体(図 90)を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します。

- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、**MF** フォーカス設定 > **プリ AF** (図 104) を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。
- フォーカスモードが **C** のときは、**MF** フォーカス設定 > **顔検出 / 瞳 AF 設定** (図 105) の **瞳 AF** は機能しません。

### ■ 合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

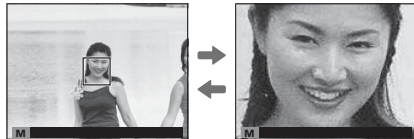


合焦マーク

合焦マーク	状況
( )	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	<b>S</b> のときに、ピントが合って固定されています。
(●) (緑点灯)	<b>C</b> のときに、ピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
<b>MF</b>	<b>M</b> のときに表示されます。

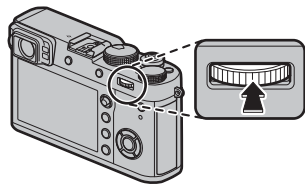
### ●● 拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます ( 81)。



通常表示

拡大表示



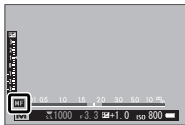
- ◆ フォーカスモードが **M** または **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、**フォーカス設定 > MFアシスト** ( 106) で**デジタルスプリットイメージ**を設定しているときは、倍率変更できません。
- ◆ フォーカスモードが **S** のときは、**AFモード** ( 80) を**シングルポイント**に設定してください。
- ◆ フォーカスモードが **C** または **フォーカス設定 > プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。
- ◆ リアコマンドダイヤルの中央押しは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他の機能に割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます ( 56)。

## M (マニュアルフォーカス) での撮影方法

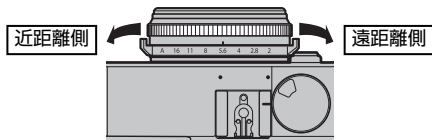
- 1** フォーカスモード切替スイッチを M に合わせます。



画面に MF が表示されます。



- 2** フォーカスリングを回してピントを合わせます。フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- ◆ フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定** > **フォーカスリング** (133) で設定できます。

- 3** 撮影します。



- マニュアルフォーカス時の AEL/AFL ボタンについて  
**AEL/AFL** ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます (81, 82)。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。

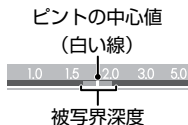
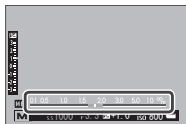
- ◆ **フォーカス設定** > **ワンブッシュ AF 時の動作**で、**AEL/AFL** ボタンの動作を変更できます (106)。  
◆ **AEL/AFL** ボタンは **操作ボタン・ダイヤル設定** > **ファンクション (Fn) 設定** で他の機能に割り当てることができます。また **AEL/AFL** 機能を他のボタンに割り当てすることもできます (56)。

## マニュアルフォーカスにおけるピントの確認方法

マニュアルフォーカスでは、以下の方法でピントを確認できます。

### ■ 距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位** (図 131) でメートルとフィートを切り換えられます。



### ■ 拡大表示して確認する (フォーカスチェック)

**表示設定 > フォーカス設定 > フォーカスチェック** (図 106) を ON にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます (図 81)。

◆ **表示設定 > MFアシスト** (図 106) の設定がフォーカスピーキングまたはスタンダードのときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。

### ■ 画面に表示された画像で確認する (EVF/LCD)

ピントの確認方法を **表示設定 > フォーカス設定 > MFアシスト** (図 106) のデジタルスプリットイメージまたはフォーカスピーキングから選べます。

◆ リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、MFアシストの設定を切り換えることができます。

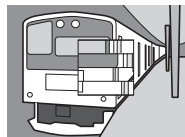
#### フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



#### デジタルスプリットイメージ

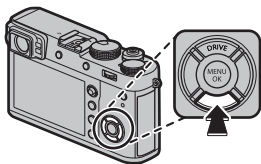
画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



## AF モードの選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します。

- 1** ファンクション (Fn5) ボタンを押します。  
AF モードの設定画面が表示されます。



- 2** 使用する AF モードを選びます。

設定	用途例
<input type="checkbox"/> シングルポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリア (図 82) で、ピントを合わせます。 <b>フォーカス設定 &gt; フォーカス点数切り替え</b> (図 104) でフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。 ◆ 被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
<input type="checkbox"/> ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリア (図 83) で、ピントを合わせます。91のフォーカスエリアポイントの中から 7×7、5×5、3×3 のゾーンを選択できます。 ◆ 動く被写体を撮影するときに便利です。
<input type="checkbox"/> ワイド/トラッキング	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>フォーカスモードが S のとき (ワイド)</b> : シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。</li><li>・ <b>フォーカスモードが C のとき (トラッキング)</b> : フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリア (図 83) にピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。</li></ul> <p>① 小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。</p>

- 3** MENU/OK ボタンを押します。  
AF モードが設定されます。

◆ **フォーカス設定 > AF モード** (図 104) から AF モードを設定できます。

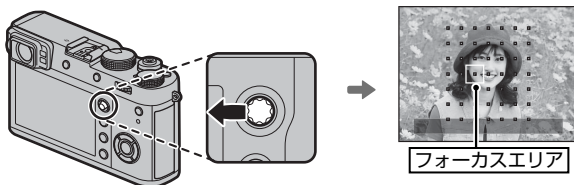


## フォーカスエリア選択

フォーカスレバーを使って、フォーカスモード ( 86 ) を **S** または **C** に設定したときのピント合わせのエリアを変更できます。

- ◆ **AF モード** の設定によって、操作が異なります ( 80 )。
- ◆ フォーカスモードを **M** に設定しているときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

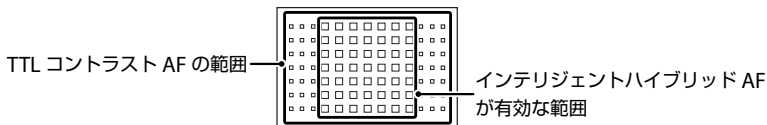
フォーカスレバーを八方向のいずれかに動かすと、動かした方向にフォーカスエリアが移動します。



- ◆ フォーカスレバーの中央を押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

### ● オートフォーカスが有効な範囲について

インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF) と TTL コントラスト AF が有効な範囲は異なります。



ピントに関する設定を変更したい

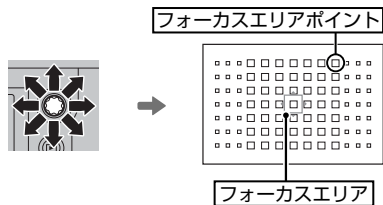
**フォーカスエリア選択画面からのフォーカスエリア選択**  
フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面で、フォーカスエリアを変更できます。

◆ **フォーカス設定** > **フォーカスエリア選択**からもフォーカスエリア選択画面を表示できます (p.104)。

### ■ AF モードがシングルポイントの場合

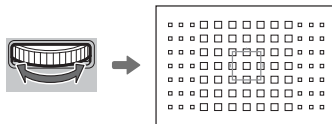
フォーカスレバーの中央を押すと、フォーカスエリアポイント (□) とフォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアの位置やサイズを変更して、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。

・フォーカスレバーで、ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。



◆ フォーカスレバーの中央を押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

・リアコマンドダイヤルを回して、フォーカスエリアのサイズを変更します。

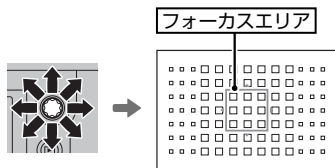


◆ 左に回すとサイズが小さく (最小 50%)、右に回すとサイズが大きくなる (最大 150%) になります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、100%に戻ります。

## ■ AFモードがゾーンの場合

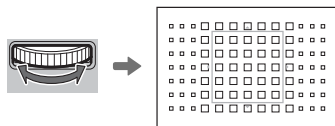
フォーカスレバーの中央を押すと、フォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアの位置やサイズを変更して、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーカスエリアが設定されます。

- フォーカスレバーで、ピントを合わせたい位置にフォーカスエリアを移動します。



- フォーカスレバーの中央を押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

- リアコマンドダイヤルを回して、フォーカスエリアのサイズを変更します。

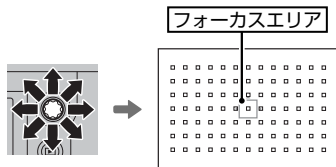


- 右に回すとサイズが3×3、5×5、7×7、3×3の順で拡大されます。左に回すと逆の順に大きさが変わります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、3×3に戻ります。

## ■ AFモードがトラッキングの場合

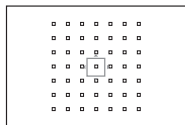
- フォーカスモードがCのときに**AFモードをトラッキング**に設定した際のフォーカスエリア選択です。

フォーカスレバーの中央を押すと、フォーカスエリアが表示されます。フォーカスエリアをトラッキングしたい被写体の位置に移動して、**MENU/OK** ボタンを押すと被写体にフォーカスエリアが設定されます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きと位置に合わせてピントを合わせ続けます。

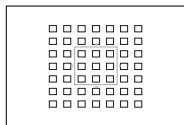


- フォーカスエリアは、フォーカスレバーで移動できます。フォーカスレバーの中央を押すと、フォーカスエリアが中央に戻ります。

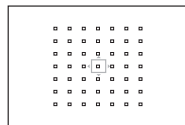
● ● ● フォーカスモードが **C** に設定されていて連写 1 (8.0fps) するときのフォーカスエリアについて  
連写 1 (8.0fps) でフォーカスモードが **C** のときは、選択できるフォーカスエリアが異なります。



シングルポイント



ゾーン



ワイド/トラッキング

## 長時間露出で撮影したい

シャッタースピードダイヤルでタイム撮影 (T) またはバルブ撮影 (B) を選択すると、長時間露光撮影ができます。

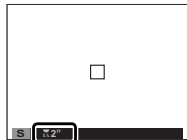
◆ カメラが動くときントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

### タイム撮影 (T)

- 1 シャッタースピードダイヤルを T に合わせます。



- 2 リアコマンドダイヤルで露光時間を設定します。



- 3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。



◆ 撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。

### バルブ撮影 (B)

- 1 シャッタースピードダイヤルを B に合わせます。



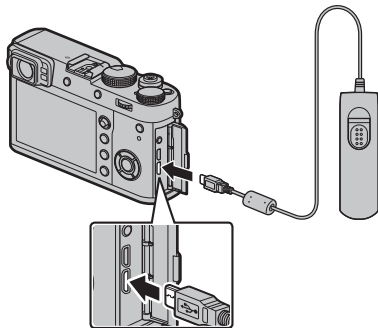
- 2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。  
シャッターが開くのは、最大 60 分間です。



- ◆ 撮影中は、経過時間が表示されます。
- ◆ 絞りを A に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- ◆ 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** (p.102) を ON にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

## リモートリリース

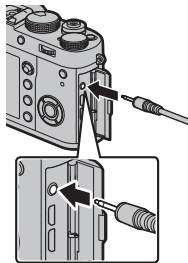
このカメラでは、別売のリモートリリース **RR-90** を使用できます。長時間露光撮影時に便利です。



◆ 詳しくは **RR-90** の使用説明書をご覧ください。

### ● 市販のリモートリリースを使用する

電子式の市販リモートリリースは、マイク/リモートリリース端子に取り付けることができます。



◆ マイク/リモートリリース端子にリモートリリースを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定**を **リモートリリース** に設定してください。

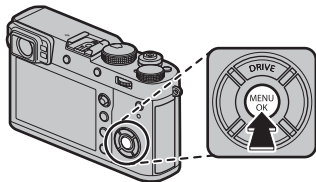
マイク/リモートリリースの設定を確認してください

**OK** 決定 **BACK** スキップ

## セルフタイマーを使って撮影したい

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10 秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2 秒後撮影」の 2 種類のセルフタイマーを搭載しています。セルフタイマーは、すべての撮影モードで使えます。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。  
撮影メニューが表示されます。



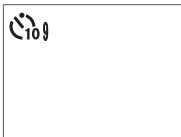
- 2** 撮影設定 > セルフタイマー (99, 108) を選び、MENU/OK ボタンを押します。  
セルフタイマーの設定画面が表示されます。

- 3** ▲▼ でセルフタイマーを選びます。

☺ : 2 秒後撮影  
☺ : 10 秒後撮影  
OFF : セルフタイマー OFF

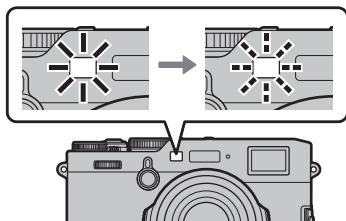
- 4** MENU/OK を押します。  
セルフタイマーが設定されます。

シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。画面には、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。



タイマーを途中で止めるには、DISP/BACK ボタンを押します。

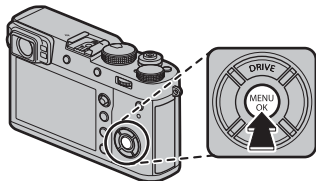
- ① シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピン트가合わなかったり、適正な明るさにならなったりすることがあります。
- ① セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。
- ☺ (10 秒後撮影) では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。☺ (2 秒後撮影) では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。



# インターバルタイマーを使って撮影したい

設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。  
撮影メニューが表示されます。



- 2** **☑** 撮影設定 > インターバルタイマー撮影 (頁99,108) を選び、MENU/OK ボタンを押します。  
インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



- 3** ▲▼◀▶ で撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。  
開始時間設定画面が表示されます。



- 4** ▲▼◀▶ で開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。  
インターバルタイマー撮影が開始されます。



① バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

- ❖ 三脚のご使用をおすすめします。
- ❖ 撮影中のバッテリー切れに注意してください。別売のACパワーアダプター **AC-9V**、DC カプラー **CP-W126** を併せてご使用ください。
- ❖ インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると表示されます。
- ❖ 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。



## AE/AF ロック撮影したい

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

- 1** ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。



- 2** シャッターボタンを半押しします。被写体にピントと露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



◆ シャッターをきる前なら、AE/AF ロックは何度でもやり直せます。

- 3** 半押ししたまま構図を変えます。被写体との距離は変えないでください。

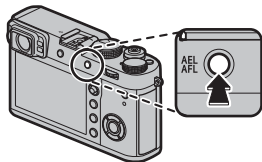




- 4** そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。



### ●● AEL/AFL ボタンを使う

AEL/AFL ボタンでも AE/AF ロックできます。



- ◆ AEL/AFL ボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- ◆  操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK 設定 (p.133) を押下切替にすると、AEL/AFL ボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。
- ◆  操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で AE LOCK のみ、AF LOCK のみ、AE/AF LOCK の機能を割り当てるボタンを変更できます (p.56)。

### ●● オートフォーカスの苦手な被写体について

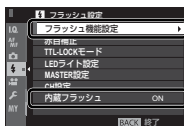
このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

# フラッシュを使って撮影したい

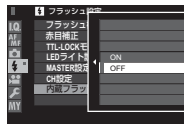
夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

- 1** 撮影メニューの **[F]** フラッシュ設定 > 内蔵フラッシュが ON になっていることを確認し、**[F]** フラッシュ設定からフラッシュ機能設定を選びます。



内蔵フラッシュの設定画面が表示されます。

- ① 内蔵フラッシュを使用しない場合は、**[F]** フラッシュ設定 > 内蔵フラッシュを OFF にしてください。



- 2** フラッシュの設定を変更します (p.92)。

▲▼◀▶ で変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



- 3** DISP/BACK ボタンを押します。フラッシュ機能が設定されます。

- ① 電子シャッターを使用しているときは、フラッシュは発光しません。
- ① 撮影モードが **S**(シャッタースピード優先) または **M**(マニュアル) のときは、シャッタースピードを同調速度  $\frac{1}{2000}$  よりも長い時間に設定してください。

- ② **基本設定 > 電子音 & フラッシュ** を OFF にしているときは、フラッシュは発光しません。
- ② TTL モードでは、フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないください。
- ② 別売のレンズフード装着時はケラレが起こることがあるため内蔵フラッシュでの撮影はおすすめできません。

## ● 赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、**[F]** フラッシュ設定 > 赤目補正を OFF 以外に設定します。**[F]** フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出を ON に設定する必要があります。

## ● フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は  $\frac{1}{2000}$  秒以下です。

## ● 別売フラッシュについて

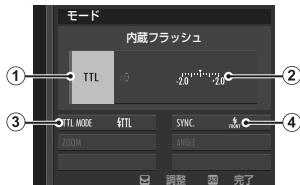
このカメラでは、別売の富士フィルム製クリップオンフラッシュが使用できます (p.153)。

## ● 他社製のフラッシュをお使いになる時のご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

## フラッシュ機能設定

内蔵フラッシュでは、以下の項目を設定できます。



### ① モード（発光モード）

フラッシュの発光モードを選びます。

設定	説明
TTL (TTL)	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整し、TTL モードで TTL 撮影の発光モードを選択します。
M (M)	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。発光量でフル発光 (1/1) から 1/64 発光までの発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合があります。実際の撮影画像で確認してください。
⚡ (コマンダー)	スタジオフラッシュなど、主灯の発光に同期して発光可能なスレーブフラッシュをコントロールするときに選択します。
OFF (OFF)	フラッシュを使用しません。

### ② 調光補正 / 発光量（発光強度）

フラッシュの調光補正または発光量を設定します。設定値は選択している発光モードによって異なります。

### ③ TTL モード

TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。

設定	説明
⚡ AUTO (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に <b>⚡</b> が表示されます。
⚡ (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
⚡ SLOW (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

### ④ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
⚡ FRONT (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
⚡ REAR (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

# RAW 画像を撮影・現像したい

## RAW 画像の撮影

RAW 画像とは、撮像素子から得られる非圧縮の生データのことです。撮影した RAW 画像は、パソコンで画像を再構成するほか、**再生メニュー** > **RAW 現像** (P.94) でさまざまな設定を行ってから JPEG に保存 (現像) できます。RAW 画像は **画質設定** > **画質モード** (P.100) で設定します。

- 1 MENU/OK ボタンを押します。**  
撮影メニューが表示されます。
- 2 画質設定 > 画質モード (P.99) を選び、MENU/OK ボタンを押します。**  
画質モードの設定画面が表示されます。
- 3 ▲▼ で RAW 画像を選びます。**

設定	説明
<b>FINE+RAW</b>	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>NORMAL+RAW</b>	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>RAW</b>	RAW ファイルのみを保存します。

- 4 MENU/OK ボタンを押します。**  
RAW 画像が設定されます。

① パソコンで RAW 画像を現像するには、パソコンに RAW FILE CONVERTER EX 2.0 がインストールされている必要があります (P.144)。

● **ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する**  
**画質設定** > **画質モード** で **FINE** または **NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておく (P.56)、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます。

設定されている画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
<b>FINE</b>	<b>FINE + RAW</b>
<b>NORMAL</b>	<b>NORMAL + RAW</b>
<b>FINE + RAW</b>	<b>FINE</b>
<b>NORMAL + RAW</b>	<b>NORMAL</b>
<b>RAW</b>	<b>FINE</b>

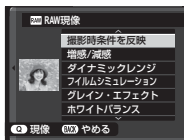
再度ファンクションボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定 (左列) に戻ります。

## RAW 画像の現像（カメラ内 RAW 現像）

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

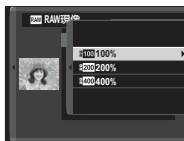
- 1 再生時に MENU/OK ボタンを押します。  
再生メニューが表示されます。
- 2 再生メニュー > RAW 現像 (P. 118, 119) を選びます。

- 3 MENU/OK ボタンを押します。  
設定できる機能の一覧が表示されます。



- 4 ▲▼ で変更する項目を選びます。

- 5 ▶ で設定の変更に移ります。



- 6 ▲▼ で設定を変更します。

- 7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。  
手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

- 8 Q ボタンを押します。  
保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

- 9 MENU/OK ボタンを押します。  
JPEG 画像が保存されます。

### Q ボタン

RAW 画像の再生時に Q ボタンを押すと、RAW 現像を表示できます。

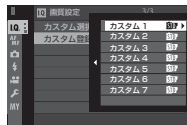
## ■ RAW 現像設定項目一覧

メニュー項目	機能	設定	📖
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。	—	—
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。	- 2 EV ~ + 3 EV まで ½ EV ステップ	—
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たまにに近い写真を撮影できます。	📷100 / 📷200 / 📷400	101
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。	STOP / V / S / C / N / N / N / A / A / A / A / B / B / B / B /	72
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を加えます。	強 / 弱 / OFF	101
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。	AUTO / Q1 / Q2 / Q3 / K / * / ☀️ / 🌧️ / 🌧️ / 🌧️ / 🌧️ / 🌧️	73
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。	- 9 ~ + 9	73
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。	- 2 ~ + 4	102
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。	- 2 ~ + 4	102
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。	- 4 ~ + 4	102
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。	- 4 ~ + 4	102
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。	- 4 ~ + 4	102
色空間	画像に適用する色空間を設定します。	sRGB / Adobe RGB	103

## 撮影の設定を保存したい

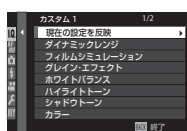
撮影メニューの設定を組み合わせることで保存できます。保存した設定は、**画質設定 > カスタム選択** (p.103) で呼び出せます。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。  
撮影メニューが表示されます。
- 2** **画質設定 > カスタム登録 / 編集** (p.99、103) を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3** 設定を保存したい場所をカスタム 1 ~ 7 から選び、MENU/OK ボタンを押します。

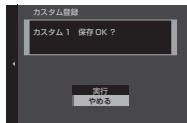


- 4** カスタムに保存できる項目は次のとおりです。個別に設定を変更することが可能です。

- ・ダイナミックレンジ (p.101)
- ・フィルムシミュレーション (p.72)
- ・グレイン・エフェクト (p.101)
- ・ホワイトバランス (p.73)
- ・ハイライトトーン (p.102)
- ・シャドウトーン (p.102)
- ・カラー (p.102)
- ・シャープネス (p.102)
- ・ノイズリダクション (p.102)



- 5** DISP/BACK ボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行を選んで MENU/OK ボタンを押すと、設定が保存されます。



◆ 現在の設定を反映を選択して MENU/OK ボタンを押すと、現在の設定がカスタム 1 ~ 7 に上書きされます。



# フォトブックを作成したい

フォトブックアシストでフォトブックを作成できます。

## フォトブックを作成する

**1** 再生メニュー>フォトブックアシスト (📖 118、122) を選びます。

**2** 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。  
フォトブックの新規作成画面が表示されます。

**3** 画像を選択します。

▲ で表示されている画像を選択または選択解除します。

▼ で表示されている画像を表紙にします。

◆ 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

◆ 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

**4** 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

**5** 作成終了を選びます。

◆ 全て選択を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

**6** MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

① フォトブックで選択できる画像は300枚までです。

① 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

### 作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、「MyFinePix Studio」(📖 144)でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

## 作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

## 作成したフォトブックを編集 / 削除する

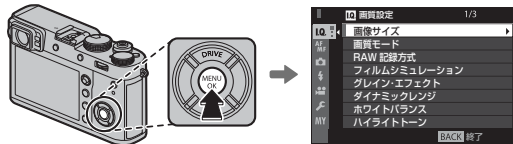
- 1** 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2** 編集または削除を選びます。  
編集：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです (97)。  
削除：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3** 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

## 撮影メニューを使う

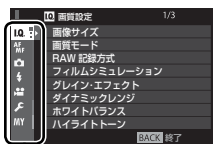
撮影時の機能を設定できます。よく使うメニューを自由にまとめて登録しておくこともできます。

### 撮影メニューの使い方

- 1** 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押します。  
メニューが表示されます。



- 2** ◀ でタブ選択に移ります。



タブ

- 3** ▲ または ▼ で変更する項目のメニューがあるタブ (IQ/MF/☐/f/Ⓜ/MY) を選びます。



- 4** ▶ で設定メニューを表示します。



- 5** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 6** ▶ で設定の変更に移ります。



- 7** ▲ または ▼ で設定を変更します。



- 8** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 9** 撮影画面に戻るまで **DISP/BACK** ボタンを押します。



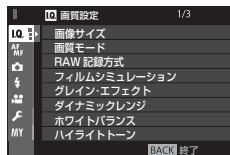
- ◆ メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り換え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

## IQ 画質設定

撮影時の画質に関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**IQ** (画質設定) タブを選びます (頁 99)。

◆ 使用できるメニュー項目は、撮影モードによって異なります。



### 画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。現在の設定で撮影可能な枚数 (頁 181) が、画面のピクセルアイコンの右側に表示されます。

- **L 3:2** (6000×4000)
- **M 3:2** (4240×2832)
- **S 3:2** (3008×2000)
- **L 16:9** (6000×3376)
- **M 16:9** (4240×2384)
- **S 16:9** (3008×1688)
- **L 1:1** (4000×4000)
- **M 1:1** (2832×2832)
- **S 1:1** (2000×2000)

#### ● 画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
<b>3:2</b>	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
<b>16:9</b>	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
<b>1:1</b>	正方形の比率です。

◆ 画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。


### 画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。


設定	説明
<b>FINE</b>	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
<b>NORMAL</b>	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
<b>FINE+RAW</b>	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>NORMAL+RAW</b>	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>RAW</b>	RAW ファイルのみを保存します。

**RAW 記録方式**

RAW 画像の記録方式を設定できます。

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します。 <b>RAW FILE CONVERTER EX 2.0</b> (  144) などロスレス圧縮 RAW の現像に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます。 <b>非圧縮</b> に比べてファイルサイズが小さくなります。

**フィルム シミュレーション**

撮影する画像の発色や階調を変更できます ( 72)。


**グレイン・エフェクト**

画像にザラっとした粒状の質感を加えます。

設定：強 / 弱 / OFF

**ダイナミックレンジ**

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体 (光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など)、白い被写体 (建物、動物、白い服でのポートレート撮影など) などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。


設定	おすすめ用途
<b>AUTO</b> (自動調整)	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。 
#100 100% #200 200%	
#400 400%	コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。

① ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

◆ ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。

◆ #200 200% は感度が ISO400 以上、#400 400% は ISO800 以上のときに設定できます。

**ホワイトバランス**

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます ( 73)。

### ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定：+4/+3/+2/+1/0/-1/-2

### シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定：+4/+3/+2/+1/0/-1/-2

### カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定：+4/+3/+2/+1/0/-1/-2/-3/-4

### シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定：+4/+3/+2/+1/0/-1/-2/-3/-4

### ノイズリダクション

高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定：+4/+3/+2/+1/0/-1/-2/-3/-4

### 長秒時ノイズ低減

ONにすると、長時間露光撮影時(ⓘ 85)のノイズを低減できます。

設定：ON/OFF

**色空間**

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影ではsRGBに設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

**ピクセルマッピング**

撮影画像の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

- 1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**画質設定タブ**を選びます (P.99)。
- 2 **ピクセルマッピング**を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押して、**ピクセルマッピング**を実行します。

- ① 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- ① 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- ① カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- ① 処理には数秒程度かかることがあります。

**カスタム選択**

**カスタム登録 / 編集**で保存した設定を呼び出せます。

設定：カスタム1 / カスタム2 / カスタム3 / カスタム4 / カスタム5 / カスタム6 / カスタム7

**カスタム登録 / 編集**

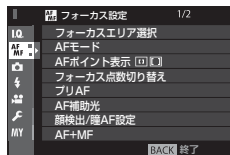
自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせ保存できます (P.96)。

## フォーカス設定

撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**フォーカス設定** タブを選びます (図 99)。

◆ 使用できるメニュー項目は、撮影モードによって異なります。



### フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます (図 82)。

### AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します (図 80)。

### AF ポイント表示

**AF モード** が **ゾーン** または **ワイド / トラッキング** のときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定：ON/OFF

### フォーカス点数切り替え

**AF モード** が **シングルポイント** またはフォーカスモードが **M** のときのフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
91 点 (7 × 13)	91 点 (7 × 13) のフォーカスエリアポイントから選べます。
325 点 (13 × 25)	325 点 (13 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

### プリ AF

**ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも AF サーチを実行します。常に AF サーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。

① **ON** にすると、バッテリーの消費が早くなります。

設定：ON/OFF



## AF 補助光

**ON** にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

- ① シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ① マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ① 人の目に近づけて発光させないでください。

設定：ON/OFF

## 顔検出 / 瞳 AF 設定

**顔検出** を **ON** にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、**瞳 AF** を **ON** にすると、目にピントを合わせることができます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



緑色の枠

設定	説明
顔検出 ON/ 瞳 AF OFF	顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。
顔検出 ON/ 瞳 AF AUTO	顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 右目優先	顔を検出したときに右目にピントを合わせます。
顔検出 ON/ 瞳 AF 左目優先	顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
顔検出 OFF/ 瞳 AF OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- ① 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- ① 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。
- ◆ 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- ◆ カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。
- ◆ 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- ◆ メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。

## AF+MF

**ON** にすると、フォーカスモードが **S** 時に AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）のときにフォーカスリングを回すと、マニュアルフォーカスで撮影できます。

◆ **MF アシスト** で **スタンダード** または **フォーカスピーキング** を選んでいる場合は、選んだ MF アシストでピントの確認ができます。

### AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

☑ **フォーカス設定 > フォーカスチェック** を **ON** にすると、**AF モード** が **シングルポイント** のときにエリア選択位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回すと 2.5 倍または 6 倍に切り換えることができます。

設定：ON/OFF

## MF アシスト

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します（[図 79](#)）。

設定	説明
スタンダード	通常表示です（デジタルスプリットイメージ/フォーカスピーキング機能を使用しません）。
デジタルスプリットイメージ	モノクロまたはカラーのスプリットイメージを表示します。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とスピーキングレベルの組み合わせを選べます。

## フォーカスチェック

**ON** にすると、フォーカスモードが **M** のときにフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示されます（[図 79](#)）。

設定：ON/OFF

## 測光 & フォーカスエリア連動

**ON** にすると、測光が **[\*] スポット**（[図 71](#)）で **AF モード** が **シングルポイント**（[図 80](#)）のときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定：ON/OFF

## ワンブッシュ AF 時の動作

フォーカスモードが **M** のときの **AEL/AFL** ボタンによるピント合わせの方法を変更できます（[図 78](#)）。

設定	説明
AF-S	AF-S（シングル AF）のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	AF-C（コンティニューアス AF）のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

## 被写界深度スケール

被写界深度のスケール（ゲージ）の基準を変更できます。

設定	説明
ピクセル基準	パソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

## レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときのそれぞれを個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないでもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

## AF フレーム補正

**ON** にすると、OVF 時に近接撮影用（撮影距離 約 50cm）の AF フレームが追加されます。シャッターボタンを半押しすると、ピント位置に応じた AF フレームが緑色で表示されます。

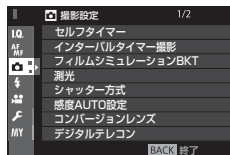
設定	ON	OFF
イメージ	<p>∞時の AF フレーム</p> <p>ピント位置に応じた AF フレーム（半押し時に緑色で表示）</p> <p>撮影距離 約 50cm 時の AF フレーム</p>	<p>ピント位置に応じた AF フレーム（半押し時に緑色で表示）</p>

## 📷 撮影設定

撮影時の設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、📷（撮影設定）タブを選びます（📖 99）。

💡 使用できるメニュー項目は、撮影モードによって異なります。



### セルフタイマー

セルフタイマーを使用できます（📖 87）。

### インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影を設定できます（📖 88）。

### フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーション **BKT** で撮影する 3 枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ変更できます（📖 65、72）。

### 測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します（📖 71）。

## シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影できます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
MS メカニカル+ ES 電子	カメラが状況に応じたシャッターで撮影します。

- ◆ ES 電子シャッターまたは MS メカニカル+ ES 電子に設定すると、シャッタースピードダイヤルを **4000** にしたあとにリアコマンドダイヤルで、より高速のシャッタースピードを選べます。
- ◆ 電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。
  - ・ ISO 感度は 12800 ~ 200、シャッタースピードは  $1/32000$  ~ 30 秒に制限されます。
  - ・ 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
  - ・ 連写撮影では、ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
  - ・ フラッシュは発光しません。
- ① 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
  - ・ 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
  - ・ 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
  - ・ シャッター音を消して撮影できますが、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任でお使いください。

## 感度 AUTO 設定

■操作ボタン・ダイヤル設定 > 感度ダイヤル設定 (A) が AUTO で、感度ダイヤルを A (オート) に合わせたとときの基準 ISO 感度、上限 ISO 感度、低速シャッター限界を設定できます。AUTO1、AUTO2、AUTO3 にそれぞれ異なった値を設定できます。

	工場出荷時の設定値		
	AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度		200	
上限 ISO 感度	800	1600	3200
低速シャッター限界		1/60	

基準 ISO 感度と上限 ISO 感度を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、低速シャッター限界では、ISO 感度が自動で切り換わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

- ◆ 上限 ISO 感度よりも基準 ISO 感度を高く設定している場合は、上限 ISO 感度で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- ◆ 基準 ISO 感度と上限 ISO 感度の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

## コンバージョンレンズ

使用する別売のコンバージョンレンズに合わせて設定を変更します (図 163)。

設定	説明
ワイド	別売のワイドコンバージョンレンズを装着時に選びます。
テレ	別売のテレコンバージョンレンズを装着時に選びます。
OFF	コンバージョンレンズを非装着時に選びます。

## デジタルテレコン

異なる焦点距離の拡大画像をデジタル超解像処理によって撮影できます (図 62)。

## ND フィルター

ON にすると、カメラに内蔵された ND フィルターが使用され、光量を 3 段分減らすことができます。明るい場所でもシャッタースピードを遅くしたり、絞りを開いたりできるようになります。スローシャッターでは動きのある写真が、絞りを開いた設定では背景ボケを活かした写真が撮影できます。

設定：ON/OFF

### ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます（図 142）。

◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

## ⚡ フラッシュ設定

撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**⚡**（フラッシュ設定）タブを選びます（図 99）。

◆ 使用できるメニュー項目は、撮影モードによって異なります。



### フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます（図 91）。

◆ 使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。各フラッシュの設定は「カメラで使えるアクセサリ」の「クリップオンフラッシュを使う」をご覧ください（図 156）。

### 赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光 + 補正処理	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光とデジタル補正による赤目補正を行います。
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
補正処理	デジタル補正による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。

- ◆ 赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。
- ◆ 顔が検出できないときは、デジタル補正は使用できません。
- ◆ RAW ファイルの画像は、デジタル補正は使用できません。



**TTL-LOCKモード**

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにブレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。

- ◆ TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます。
- ◆ ロックしていても調光補正はできません。
- ◆ **直前の発光条件でロック**を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

**LED ライト設定**

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光+キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。

- ◆ フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

## MASTER 設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。

◆ フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

## CH 設定

マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定：CH1/CH2/CH3/CH4

## 内蔵フラッシュ

内蔵フラッシュを使用するかどうかを設定します。

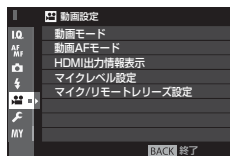
設定	説明
ON	内蔵フラッシュを使用します。
OFF	内蔵フラッシュを使用しません。別売のクリップオンフラッシュを使用したり、ホットシューにシンクロケーブルを取り付けて他のフラッシュを使用する場合に設定します。

## 📺 動画設定

動画撮影に関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、📺（動画設定）タブを選びます（📖 99）。

💡 使用できるメニュー項目は、撮影モードによって異なります。



### 動画モード

撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定		説明
📺 1080/59.94P	📺 1080/25P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1920 × 1080 の動画
📺 1080/50P	📺 1080/24P	
📺 1080/29.97P	📺 1080/23.98P	
📺 720/59.94P	📺 720/25P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1280 × 720 の動画
📺 720/50P	📺 720/24P	
📺 720/29.97P	📺 720/23.98P	

### 動画 AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	カメラが自動的にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

### HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定：ON/OFF

### マイクレベル設定

マイクレベルを変更できます。

設定：1 ~ 4


### マイク / リモートリリース設定


マイク / リモートリリース端子の設定を変更できます ( 50、86)。

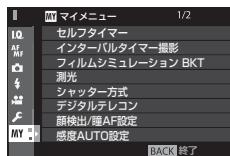
設定：🎤 マイク / 📡 リモートリリース

## MY マイメニュー

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY**（マイメニュー）タブを選びます（ 99）。

- ◆ マイメニューへの登録は **基本設定** > **マイメニュー設定**（ 138）で行います。
- ◆ **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY**（マイメニュー）タブを選ぶことはできません。

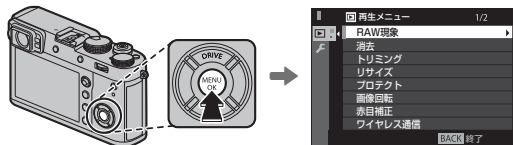


## 再生メニューを使う

画像の再生時に使う機能を設定できます。

### 再生メニューの使い方

- 1** 再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。  
再生メニューが表示されます。



- 2** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 3** ► で設定の変更に移ります。



- 4** ▲ または ▼ で設定を変更します。



- 5** **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。



- 6** 再生影画面に戻るまで **DISP/BACK** ボタンを押します。

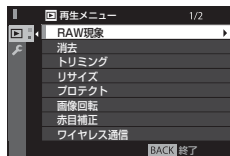


- ◆ メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り換え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

## 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**再生メニュー** タブを選びます (図 118)。



### RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存 (現像) できます (図 94)。

### 消去

画像消去できます (図 47)。

### トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング (切り抜く) できます。

トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューから **再生メニュー** を選びます。
- 3 リアコマンドダイヤルとセレクターボタンでトリミングしたい部分を調整します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 **MENU/OK** ボタンを押して、トリミングします。

- ◆ 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- ◆ トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- ◆ トリミングした画像の縦横比は、**3:2** になります。

## リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。

リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューから **回** リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズ (**M**、**S**、**640**) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

◆ 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

## プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。



- 1 再生メニューから **回** プロテクトを選びます。
- 2 プロテクトの方法を選びます。
  - ・ **設定 / 解除** : プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる画像はプロテクト設定が解除されます。
    - ◆ 手順3のあとに **◀** または **▶** で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
  - ・ **全コマ設定** : すべての画像がプロテクトされます。
  - ・ **全コマ解除** : すべての画像のプロテクト設定を解除します。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。
- 4 **DISP/BACK** ボタンを押して、プロテクトを終了します。

① メモリーカードをフォーマット (125) すると、プロテクトした画像も消去されます。



## 画像回転



画像を回転できます。

- 1 再生画面で回転したい画像を選びます。
- 2 再生メニューから  画像回転を選びます。
- 3 セレクターボタンの ▼（時計回りに 90° 回転）または ▲（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。
- 4 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。
  - ◆ プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
  - ◆ 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
  - ◆  表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します (P.131)。

## 赤目補正

人物の赤目を補正できます。

赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。
- 2 再生メニューから  赤目補正を選びます。
- 3 MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。
  - ◆ 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかつたり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
  - ◆ 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
  - ◆ 赤目補正済みの () が表示されている) 画像は、それ以上赤目補正できません。
  - ◆ RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

## ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます (P.142)。

- ◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。  
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

## 再生メニューを使う

### スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。

- **MENU/OK** ボタン：スライドショーの開始 / 終了
  - **DISP/BACK** ボタン：スライドショー終了のガイダンスが表示
  - ◀ または ▶：コマ送り
- ◆ スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

### フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます ( 図 97 )。

### PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます ( 図 143 )。

- ◆ 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。  
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

### プリント予約 (DPOF)

プリントする画像を指定します ( 図 148 )。

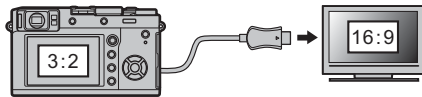
### instax プリンタープリント

別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます ( 図 151 )。

## 表示比率

**3:2** で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定	16:9	3:2
イメージ		

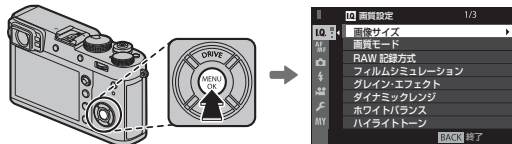
◆ **16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。**3:2** に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

## セットアップメニューを使う

カメラの基本的な設定や表示などの設定を変更できます。

### セットアップメニューの使い方

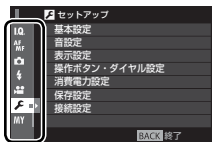
- 1** 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押します。  
メニューが表示されます。



- 2** ◀ でタブ選択に移ります。



- 3** ▲ または ▼ で **設定** (セットアップ) タブを選びます。



タブ

- 4** ▶ でカテゴリメニューを表示します。



- 5** ▲ または ▼ で変更する項目があるカテゴリを選びます。



- 6** ▶ で項目の変更に移ります。



- 7** ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。



- 8** ▶ で設定の変更に移ります。



- 9** ▲ または ▼ で設定を変更します。



- 10** **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。



- 11** 撮影画面に戻るまで **DISP/BACK** ボタンを押します。

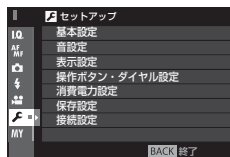


◆メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り換え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

## 📌 セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などの設定を変更できます。

**MENU/OK** ボタンを押して、📌 (セットアップ) タブを選びます (📖 124)。設定を変更するカテゴリを選んでから設定を変更する項目を選びます。

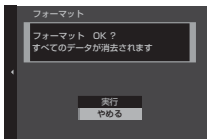


## 📌 基本設定

### フォーマット

メモリーカードをフォーマット (初期化) します。

- 1 セットアップメニューの 📌 基本設定 > フォーマットを選びます。
- 2 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



- 3 ▲ で実行を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
フォーマットが実行されます。

◆ 確認画面でやめるを選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

- ① プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- ① フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。
- ◆ 🗑️ (消去) ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を押してもフォーマット画面を表示できます。

## セットアップメニューを使う

### 日時設定

日付と時刻を設定します。日時の設定方法については、「初期設定を行う」をご覧ください ( 34)。

### 世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
🏠 ホーム	「初期設定を行う」( 34) で設定した地域の日時を表示
➡ 現地	旅行先の日時を表示

#### ●● 現地時間の設定

- ➡ 現地を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 時差を設定します。
  - ・ ◀ または ▶ : + / -、時間、分の選択
  - ・ ▲ または ▼ : 設定の変更
- MENU/OK** ボタンを押します。

◆ ➡ 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ➡ と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

### 言語/LANG.

画面に表示する言語を設定します。

### マイメニュー設定


**MV** マイメニューにメニューを登録します ( 138)。

### シャッター回数

シャッターを切ったおおよその回数を確認できます。

◆ シャッター回数はシャッターボタンを押す以外にも、電源オン/オフ、OVF/EVF 切り換え、再生モードへ切り換えなどでカウントされます。

### 電子音 & フラッシュ

**OFF** にすると、画面に  が表示され、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定：ON/OFF

**リセット**

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。


- 1 リセットするメニューを選び **MENU/OK** ボタンを押します。

設定	説明
撮影メニューリセット	撮影メニューの <b>カスタム登録 / 編集</b> の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの <b>日時設定</b> 、 <b>世界時計</b> 、 <b>接続設定</b> の接続に関する設定以外がリセットされます。

- 2 確認画面で実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

## 音設定

### AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。音を消したいときは、OFF を選びます。


設定：1/1/1/OFF

### セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します (87)。音を消したいときは、OFF を選びます。


設定：1/1/1/OFF

### 操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。音を消したいときは、OFF を選びます。

設定：1/1/1/OFF




### シャッター音量

シャッターをきるときの音量を設定します。音を消したいときは、OFF を選びます。

設定：1/1/1/OFF

### シャッター音

シャッターをきるときの音を設定します。

設定：1/2/3

### 再生音量

再生時の音量を設定します。

設定：10～1/OFF



**表示設定****EVF 明るさ**

EVF（ファインダー）の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的に適切な明るさを調整します。
マニュアル	+5~-5の明るさを手動で調整します。

**EVF 鮮やかさ**

EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

設定：+5/+4/+3/+2/+1/0/-1/-2/-3/-4/-5

**LCD 明るさ**

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定：+5/+4/+3/+2/+1/0/-1/-2/-3/-4/-5

**LCD 鮮やかさ**

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定：+5/+4/+3/+2/+1/0/-1/-2/-3/-4/-5

**撮影画像表示**

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、OFF になります。
OFF	表示しません。

- ◆ 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- ◆ 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

## セットアップメニューを使う

### EVF 縦横自動回転表示

**ON** のときは、撮影時にカメラを縦向きにすると、ファインダー（EVF）の表示が縦向きになります（[図 37](#)）。

① 液晶モニター（LCD）の表示は、縦向きにはなりません。

設定：ON/OFF

### マニュアル時モニター露出/WB 反映

マニュアル（**M**）撮影（[図 61](#)）で露出やホワイトバランスを反映した画像を画面に表示できます。

設定	説明
露出反映/WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。 ◆ フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は <b>OFF</b> にしてください。

### モニター撮影効果反映




撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。
OFF	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。

## フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

- ◆ フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「スタンダード画面のカスタマイズについて」をご覧ください ( 39 )。

設定	田 方眼 9 分割	田 方眼 24 分割	画 HD フレーミング
説明	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。
イメージ			

## 縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定：ON/OFF

## 距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます ( 79 )。

設定：メートル/フィート

## 画面のカスタマイズ

撮影時のスタンダード画面に表示したい項目を設定できます ( 39 )。

## 操作ボタン・ダイヤル設定

### フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
● ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

### クイックメニュー登録 / 編集

クイックメニューに表示するメニューを変更できます ( 54)。

### ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンや AEL/AFL ボタン、リアコマンドダイヤル中央押しに割り当てる機能を設定できます ( 55)。

### 感度ダイヤル設定 (H)

感度ダイヤルの H に割り当てる拡張感度を変更できます。

設定	説明
25600	感度ダイヤルの H (拡張感度) の位置を ISO 25600 に設定します。
51200	感度ダイヤルの H (拡張感度) の位置を ISO 51200 に設定します。

### 感度ダイヤル設定 (A)

感度ダイヤルの A に割り当てる感度を設定できます。

設定	説明
AUTO	感度ダイヤルを A に合わせると、被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。
コマンド	感度ダイヤルを A に合わせると、フロントコマンドダイヤルで ISO 感度を設定できます。

## フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

## コントロールリング設定

コントロールリングに割り当てる機能を設定できます（📖 18）。

設定：スタンダード / ホワイトバランス / フィルムシミュレーション / デジタルテレコン

## AE/AF-LOCK 設定

**AEL/AFL** ボタンを押したときの機能を設定します（📖 90）。

設定	説明
<b>AE/AF-LOCK 押下中のみ</b>	ボタンを押している間、固定されます。
<b>押下切替</b>	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

## 消費電力設定

### 自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

◆ 設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

### パフォーマンス

カメラの AF 性能やバッテリーの持ち具合を設定できます。

設定	AF 性能 (速さ)	画像 (LCD/EVF) 表示 (なめらかさ、画質)	バッテリーの持続時間
ハイパフォーマンス	最速	最高画質	短い
スタンダード	最速	高画質	標準
エコノミー	標準	高画質	長い

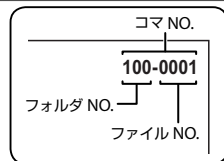
◆ エコノミーに設定しているときに一定時間、何も操作をしないしていると、フレームレートが低下します。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。

## 保存設定

### コマ NO.

コマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を設定します。メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。

設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ◆ ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 ◆ フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。



- ◆ コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります ( 179)。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- ◆ **基本設定 > リセット** ( 127) を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- ◆ 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

### 補正前画像記録

ON にすると、**フラッシュ設定 > 赤目補正** ( 112) の処理前の画像も同時に記録します。

設定：ON/OFF

### ファイル名編集

ファイル名 (DSCF\*\*\*\*/\_DSF\*\*\*\*) をそれぞれ変更できます。

色空間	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

## 著作権情報

撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。

設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 <b>著作権情報の削除</b> を行ってから撮影してください。







## 接続設定

- 無線 LAN 機能の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。  
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

### ワイヤレス設定

無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
共通設定	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>名前</b>：無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。</li> <li>工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。</li> <li><b>設定初期化</b>：無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。</li> </ul>
スマートフォン送信時  圧縮	<p>スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>ON</b>：画像サイズを  に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。</li> <li><b>OFF</b>：元画像のサイズのまま送信します。</li> </ul> <p> <b>スマートフォン送信時  圧縮</b> を ON して画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。</p>
PC 保存設定	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>保存先削除</b>：設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。</li> <li><b>前回接続情報</b>：直前に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。</li> </ul>

### PC 保存先設定

PC 保存の保存先を設定します。

設定	説明
簡単設定	無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、保存先 (PC) を設定します。
手動設定	無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先 (PC) を設定します。

### 位置情報設定

スマートフォンから取得した位置情報の設定を変更できます。

設定	説明
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。

### instax プリンター接続設定

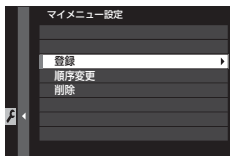
別売の FUJIFILM instax SHARE との接続を設定します (p.150)。

## マイメニューについて

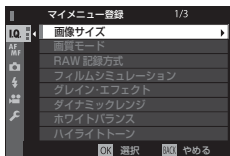
よく使うメニューなどを **MM** マイメニューに登録しておくことができます。**MM**（マイメニュー）タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます（[図 117](#)）。

### マイメニューを登録する

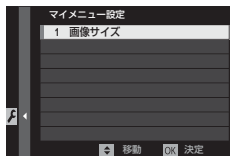
- 1** セットアップメニューの **基本設定 > マイメニュー設定** を選びます（[図 124](#)）。  
メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ で登録を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
登録可能なメニューが青文字で表示されます。  
◆ 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。



- 3** 登録するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
マイメニューが登録されます。



- 4** **MENU/OK** ボタンを押します。  
マイメニュー登録画面に戻ります。
- 5** 手順 3 と 4 を繰り返して、マイメニューを登録します。  
◆ 最大 16 項目（8 × 2 ページ）のメニューが登録できます。

#### マイメニューの編集について

手順 1 で **順序変更** を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

## 工場出荷時の設定値

撮影メニューとセットアップメニューの工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

◆ **基本設定** > **リセット** (p.127) を実行すると、工場出荷時の設定に戻せます。

### ■ 撮影メニュー

メニュー	工場出荷時
<b>画質設定</b>	
画像サイズ	3:2
画質モード	FINE
RAW 記録方式	非圧縮
フィルムシミュレーション	PROVIA/スタンダード
グレイン・エフェクト	OFF
ダイナミックレンジ	100%
ホワイトバランス	AUTO
ハイライトトーン	0
シャドウトーン	0
カラー	0
シャープネス	0
ノイズリダクション	0
長秒時ノイズ低減	ON
色空間	sRGB
カスタム選択	カスタム 1

メニュー	工場出荷時
<b>フォーカス設定</b>	
AF モード	シングルポイント
AF ポイント表示	OFF
フォーカス点数切り替え	91 点 (7×13)
プリ AF	OFF
AF 補助光	ON
顔検出 / 瞳 AF 設定	顔検出 OFF / 瞳 AF OFF
AF+MF	OFF
MF アシスト	スタンダード
フォーカスチェック	OFF
測光 & フォーカスエリア連動	ON
ワンタッチ AF 時の動作	AF-S
被写界深度スケール	ピクセル基準
レリーズ優先 / フォーカス優先	
AF-S	レリーズ
AF-C	レリーズ
AF フレーム補正	OFF

## 工場出荷時の設定値

メニュー	工場出荷時
📷 撮影設定	
セルフタイマー	OFF
フィルムシミュレーション BKT	
フィルム 1	PROVIA/スタンダード
フィルム 2	Velvia/ビビッド
フィルム 3	ASTIA/ソフト
測光	マルチ
シャッター方式	メカニカルシャッター
感度 AUTO 設定	AUTO3
コンバージョンレンズ	OFF
デジタルテレコン	OFF
ND フィルター	OFF

メニュー	工場出荷時
📷 フラッシュ設定	
赤目補正	OFF
TTL-LOCK モード	直前の発光条件でロック
内蔵フラッシュ	ON
📺 動画設定	
動画モード	📺 1080/59.94P
動画 AF モード	オートエリア
HDMI 出力情報表示	OFF
マイクレベル設定	3
マイク/リモートリリース設定	マイク

## ■ セットアップメニュー

メニュー	工場出荷時
<b>基本設定</b>	
世界時計	ホーム
電子音 & フラッシュ	ON
<b>音設定</b>	
AF 合焦音量	中
セルフタイマー音量	中
操作音量	OFF
シャッター音量	中
シャッター音	サウンド 1
再生音量	7
<b>表示設定</b>	
EVF 明るさ	AUTO
EVF 鮮やかさ	0
LCD 明るさ	0
LCD 鮮やかさ	0
撮影画像表示	OFF
EVF 縦横自動回転表示	ON
マニュアル時モニター露出 / WB 反映	露出反映 /WB 反映
モニター撮影効果反映	ON
フレーミングガイド	方眼 9 分割
縦横自動回転再生	OFF
距離指標の単位	メートル
画面のカスタマイズ	📖 39 参照

メニュー	工場出荷時
<b>操作ボタン・ダイヤル設定</b>	
フォーカスレバー設定	ON
クイックメニュー登録 / 編集	📖 52 参照
ファンクション (Fn) 設定	📖 55 参照
感度ダイヤル設定 (H)	25600
感度ダイヤル設定 (A)	AUTO
フォーカスリング	時計回り
コントロールリング設定	スタンダード
AE/AF-LOCK 設定	AE/AF-LOCK 押下中のみ
<b>消費電力設定</b>	
自動電源 OFF	2 分
パフォーマンス	スタンダード
<b>保存設定</b>	
コマ NO.	連番
補正前画像記録	OFF
<b>接続設定</b>	
ワイヤレス設定	
スマートフォン送信時 📺 圧縮	ON
PC 保存先設定	簡単設定
位置情報設定	
位置情報記録	ON
位置情報表示	ON

### 無線 LAN 機能を使用する (FUJIFILM Camera Remote/FUJIFILM PC AutoSave)

無線 LAN を使って、カメラとスマートフォンやパソコンと通信が出来ます。無線 LAN 機能の使用方法和アプリケーションのダウンロード方法については以下のサイトをご覧ください。



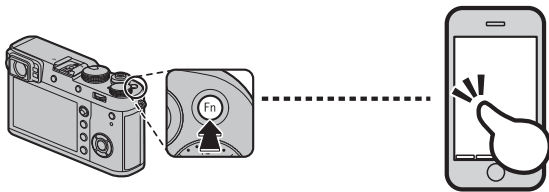
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

富士フィルム Wi-Fi アプリ



### スマートフォンと通信

再生モードでカメラのファンクション (Fn1) ボタンを押すと、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

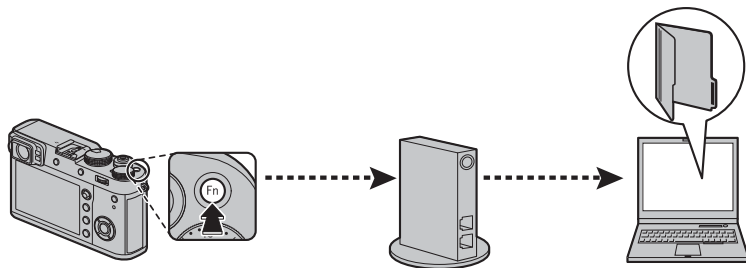
- ・スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- ・カメラからスマートフォンに画像を送信
- ・スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- ・スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

◆ 撮影設定または再生メニュー > ワイヤレス通信 (111, 121) から通信できます。

## パソコンに画像を保存

再生モードでカメラのファンクション (Fn1) ボタンを長押しすると、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。



この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。

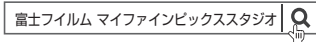
◆ 再生メニュー > PC 保存 (p.122) から通信できます。

## カメラをパソコンに接続して画像を転送する (MyFinePix Studio/RAW FILE CONVERTER EX 2.0)

### Windows をお使いの方

Windows をお使いの方は **MyFinePix Studio** を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。**MyFinePix Studio** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/mfs/>



ダウンロードしたファイル「**MFPS\_Setup.EXE**」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。表示される指示にしたがって、インストールしてください。

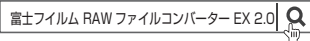
### Mac OS X / macOS をお使いの方

Mac OS X / macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの**イメージキャプチャ**などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

● RAW 画像をパソコン上で現像するには

**RAW FILE CONVERTER EX 2.0** を使うと、RAW 画像をパソコン上で現像できます。**RAW FILE CONVERTER EX 2.0** は、以下のサイトからダウンロードしてください。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

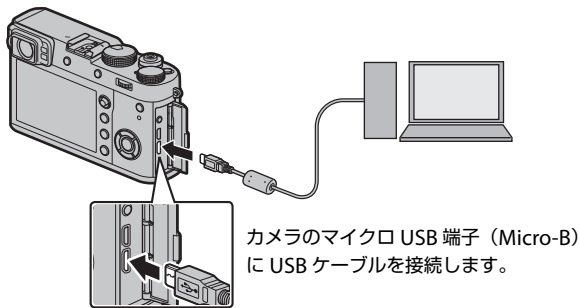




## カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

- 1** パソコンを起動します。
- 2** カメラの電源をオフにします。
- 3** USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



- ① USB ケーブルは、付属のものをご使用ください。
- ① カメラ側の端子はマイクロ USB (Micro-B) USB2.0 です。
- ① USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。


- 4** カメラの電源をオンにします。
- 5** MyFinePix Studio や OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。
- 6** 画像の取り込みが完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

## カメラをパソコンに接続して画像を転送する

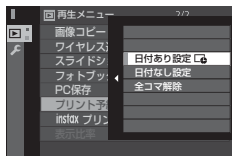
- ① 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- ① メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- ① カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯していることを確認してください。
- ① カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
- ① メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ① ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- ① パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- ① インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

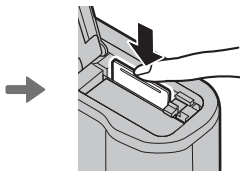
## プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、再生メニュー＞プリント予約（DPOF）（ 148）であらかじめ DPOF 指定した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

デジタルカメラ



メモリーカード



フジカラーデジカメプリントサービス店




事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（プリント予約（DPOF））。



画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。詳細は、<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>をご覧ください。

### ● デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、144 ページを参照してください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（ 34）。
- パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください（「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

## プリントする画像を指定する（プリント予約（DPOF））


再生メニュー＞プリント予約（DPOF）（ 122）であらかじめ DPOF 指定（プリント予約）しておくと、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリント（ 147）するとき、指定した内容で簡単にプリントできます。

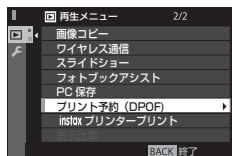
### DPOF 指定


DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

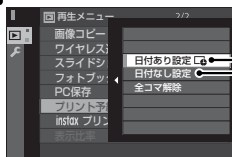



### ■ 日付あり設定 / 日付なし設定

**1** 再生メニュー＞プリント予約（DPOF）（ 118）を選びます。



**2** 日付あり設定  または日付なし設定を選びます。



日付あり設定  : 撮影日を印字します。

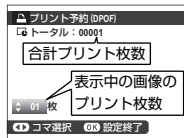
日付なし設定 : 撮影日を印字しません。

**3** MENU/OK ボタンを押します。

**4** DPOF 指定する画像を選びます。

**5** プリント枚数を選びます（最大 99 枚）。


- DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。



**6** プリントしたいすべての画像に対して手順4と5を行います。

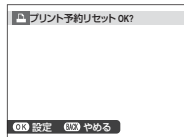
設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを、設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

**7** 合計枚数を確認して、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に  が表示されます。

◆ 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。

◆ 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

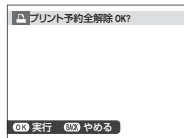


◆ 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

**■ 全コマ解除**

現在設定されている DPOF 指定（プリント予約）を一度に解除できます。

**全コマ解除**を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。



## instax SHARE プリンターでカメラの画像をプリントする

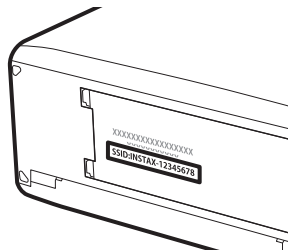
別売の FUJIFILM instax SHARE で画像を印刷できます。

### プリンターとの接続を設定する

☑ **接続設定 > instax プリンター接続設定** (📖 137) を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

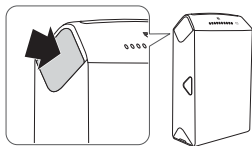
#### ■ プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。既にスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



## 画像をプリントする

- 1** プリンターの電源を入れます。



- 2** 再生メニュー → instax プリンタープリント (☰ 118) を選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



- ◆ 連写コマをプリントするには、プリントするコマを表示してからメニューを実行します。

- 3** プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- ◆ 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。  
◆ プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。

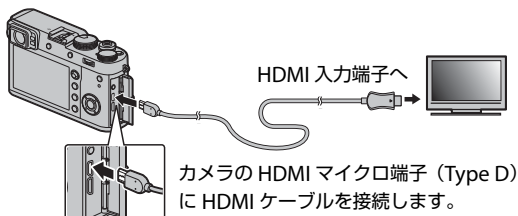
- 4** 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。



## テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショーを大勢で楽しむことができます。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- ① HDMI ケーブルを使用の際は、以下のことにご注意ください。
  - カメラ側の端子は HDMI マイクロ端子 (Type D) です。
  - 長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。
  - 向きに気をつけて接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ① USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- ① HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- ① テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。

- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り換えます。  
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

- 4 カメラの電源をオンにし、▶ (再生) ボタンを押します。  
カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。

◆ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。











# カメラで使えるアクセサリ

## アクセサリ

### 別売アクセサリ

このカメラでは、次の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。

<p><b>充電式バッテリー NP-W126S</b>：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。</p>	
<p><b>バッテリーチャージャー BC-W126</b>：充電式バッテリー NP-W126S を充電します。充電時間は約 150 分（+20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz 対応）。</p>	
<p><b>AC パワーアダプター AC-9V</b>：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください（AC100V～240V、50/60Hz 対応）。ご使用になる場合は、必ず DC カプラー CP-W126 と併用してお使いください。</p>	
<p><b>DC カプラー CP-W126</b>：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプター AC-9V と併用してお使いください。</p>	
<p><b>クリップオンフラッシュ EF-X500</b>：ガイドナンバー最大 50（ISO100・m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、マニュアル発光機能、24～105 mm（35mm フィルム換算）のオートズーム機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、下 10°、左 135°、右 180° です。単三電池 4 本を使用し、別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。</p>	
<p><b>クリップオンフラッシュ EF-42</b>：ガイドナンバー最大 42（ISO100・m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24～105 mm（35mm フィルム換算）のオートズーム機能を搭載。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120° です。単三電池 4 本を使用します。</p>	
<p><b>クリップオンフラッシュ EF-X20</b>：ガイドナンバー 20（ISO100・m）のクリップオンタイプのフラッシュです。</p>	
<p><b>クリップオンフラッシュ EF-20</b>：ガイドナンバー 20（ISO100・m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能を搭載。バウンス角度は上 90° です。単三電池 2 本を使用します。</p>	

## アクセサリ

**リモートリリース RR-90**：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。



**ステレオマイク MIC-ST1**：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。



**レザーケース LC-X100F**：本革製ケースです。カメラに装着したままの撮影や、カードやバッテリーの出し入れが可能です。同革素材のショルダーストラップを同梱しています。

**グリップベルト GB-001**：本体に装着することでホールド感を高めます。ハンドグリップと組み合わせてお使いいただくことにより、さらに安定性が向上いたします。

**テレコンバージョンレンズ TCL-X100 II**：元のレンズの焦点距離よりも望遠側で撮影するためのレンズです。

**ワイドコンバージョンレンズ WCL-X100 II**：元のレンズの焦点距離よりも広角側で撮影するためのレンズです。

**アダプターリング AR-X100**：アルミニウム製のアダプターリングです。専用レンズフード（LH-X100）のほか、市販のフィルター（φ49mm）を装着する時に使用します。

**レンズフード LH-X100**：アルミニウム製のレンズフードです。同素材のアダプターリング（AR-X100）を同梱しています。

※ 専用アダプターリング AR-X100 が必要です。

**プロテクトフィルター PRF-49S**：X100 シリーズ用のプロテクトフィルターです。

※ 専用アダプターリング AR-X100 が必要です。

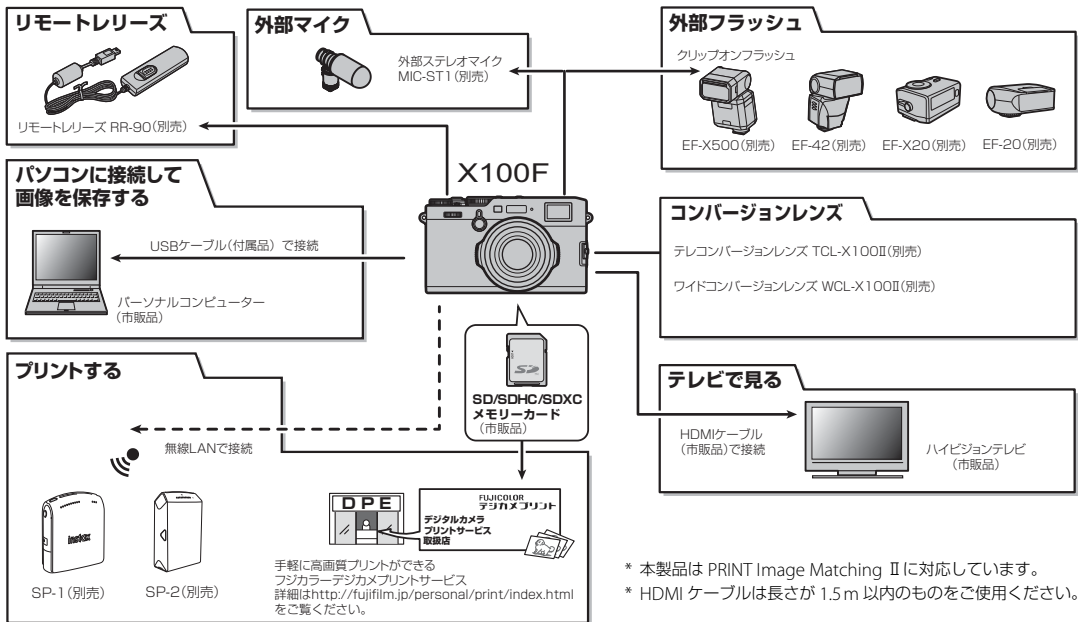
**instax SHARE プリンター SP-1/SP-2**：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

※最新情報については、富士フィルムホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

## システム構成図

このカメラは、さまざまな富士フィルムおよび他社製品に対応しています。



\* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます (パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください)。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

## 別売のクリップオンフラッシュを使う

別売のクリップオンフラッシュを使うと、内蔵フラッシュよりも大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

① カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

使用するフラッシュをカメラに接続して、撮影メニューの **4** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選ぶと、カメラに接続しているフラッシュの状態に応じたメニューが表示されます。

◆ クリップオンフラッシュ使用時は内蔵フラッシュの発光を抑制するため、**4** フラッシュ設定 > 内蔵フラッシュを **OFF** にしてください。



フラッシュ設定	説明
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます (P.157)。
MASTER (光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したマスターフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます (P.159)。

- ◆ **4** フラッシュ設定 > 内蔵フラッシュが **OFF** のときに、ホットシューに何も接続されていない場合、またはカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、**シンクロターミナル**の設定画面が表示されます。
- ◆ 連写機能のあるフラッシュを使うと、カメラの連写設定に応じてフラッシュ撮影することが可能です。

## ■ クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを接続している場合に表示されます。



### ① モード (発光モード)

フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。

設定	説明
TTL	TTL 自動調光で発光します。調光補正で発光量を調整できます。
M	被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光度で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光量で発光強度を変更できます。
Multi	対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光 (マルチ発光) します。
OFF	フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。

### ② 調光補正 / 発光量 (発光強度)

・モードが TTL のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。

・モードが M のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 (1/1) から 1/512 発光まで、1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。

・モードが Multi のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、1/4 発光から 1/512 発光まで 1/3 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。



### ③ TTL モード

TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。

設定	説明
<b>閃</b> AUTO (フラッシュ 発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に <b>閃</b> が表示されます。
<b>閃</b> (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
<b>閃</b> SLOW (スロー シンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

④ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。




設定	説明
 (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
 (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。

⑤ ズーム設定

照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。**AUTO**の設定では、カメラに取り付けているコンバージョンレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。



⑥ 配光設定 (配光特性)

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。

設定	説明
 (光束優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。
 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。
 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

⑦ LED ライト設定

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵のLEDライトの用途を設定できます。

設定	説明
 (キャッチライト)	キャッチライトのみ使用します。
<b>AF</b> (AF 補助光)	AF 補助光のみ使用します。
 (AF 補助光+ キャッチライト)	AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。
<b>OFF</b>	どちらも使用しません。

⑦ TIMES (発光回数)\*

モードが **Multi** のときに、1回の撮影における発光回数を設定します。

⑧ Hz (発光周波数)\*

モードが **Multi** のときに、発光周波数を設定します。

\* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

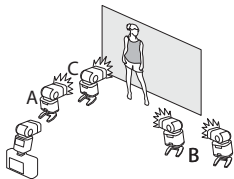
## ■ MASTER (光通信)

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスタースラッシュを接続している場合に表示されます。



富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、マスタースラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



- ① A グループモード (発光モード)
- ② B グループモード (発光モード)
- ③ C グループモード (発光モード)

それぞれのグループの発光モードを設定します。

- A、B グループは **TTL**、**TTL%**、**M**、**Multi**、**OFF** から選択できます。
- C グループは **TTL**、**M**、**Multi**、**OFF** から選択できます。

設定	説明
<b>TTL</b>	<b>TTL</b> を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。
<b>TTL%</b>	A または B グループで <b>TTL%</b> を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。
<b>M</b>	<b>M</b> を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。
<b>Multi</b>	A、B または C グループを <b>Multi</b> に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。
<b>OFF</b>	<b>OFF</b> を設定したグループのフラッシュは発光しません。

- ④ **A グループ調光補正 / 発光量** (発光強度)
- ⑤ **B グループ調光補正 / 発光量** (発光強度)
- ⑥ **C グループ調光補正 / 発光量** (発光強度)


グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。

- ・モードが **TTL** に設定されているときは調光補正を設定できます。
- ・モードが **M**、**Multi** に設定されているときは発光強度を設定できます。
- ・モードが **TTL%** に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。

補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。



## ⑦ TTLモード

TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (**P**、**S**、**A**、**M**) によって選択可能な設定が異なります。

設定	説明
 <b>TTL AUTO</b> (フラッシュ発光 AUTO)	被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
 <b>TTL</b> (スタンダード)	一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。
 <b>TTL SLOW</b> (スローシンクロ)	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。

## ⑧ 同調モード

フラッシュが発光するタイミングを選びます。

設定	説明
 <b>FRONT</b> (先幕)	シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。
 <b>REAR</b> (後幕)	シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。






## ⑨ ズーム設定

照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。**AUTO**の設定では、カメラに取り付けているコンバージョンレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。

## ⑩ 配光設定（配光特性）

本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光（照射角）特性を変更できます。

設定	説明
 (光量優先)	フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。
 (スタンダード)	撮影画角に対して最適な照射角にします。
 (配光優先)	照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。

## ⑪ MASTER 設定（MASTER 発光設定）

モードが **TTL**、**TTL%**、**M** のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのマスターフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
<b>Gr A</b>	A グループに設定します。
<b>Gr B</b>	B グループに設定します。
<b>Gr C</b>	C グループに設定します。
<b>OFF</b>	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。

## ⑫ TIMES（発光回数）

モードが **Multi** のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。

## ⑬ CH 設定

マスターフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

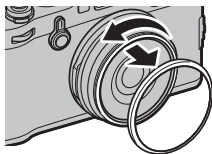
## ⑭ Hz（発光周波数）

モードが **Multi** のときに、発光周波数を設定します。

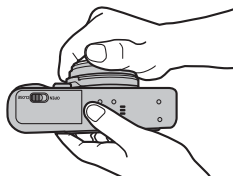
## 別売アクセサリの取り付け方

### ■ アダプターリング AR-X100

- 1** フロントリングをはずします。

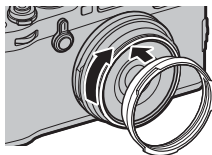


◆ フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりつかんで回してください。



- 2** アダプターリングを取り付けます。

図のように突起部が手前になるようにしてください。

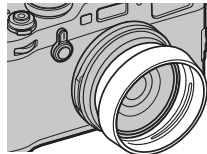
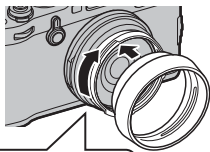


- ① はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。
- ① レンズフード LH-X100やプロテクトフィルター PRF-495、市販のフィルターなどを取り付けるときは、必ずアダプターリング AR-X100 を先に装着してください。

### ■ レンズフード LH-X100

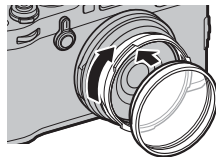
アダプターリングを取り付けたから、レンズフードを取り付けます。

- ◆ 切り欠き部分を合わせて、図のように回します。



### ■ プロテクトフィルター PRF-495

アダプターリングを取り付けたから、プロテクトフィルターを取り付けます。

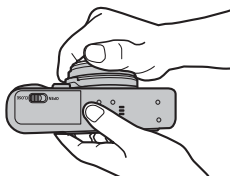
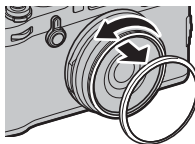


## コンバージョンレンズの使い方

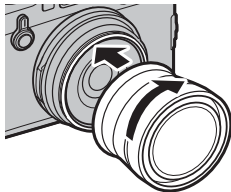
### ■ 取り付け方

- 1** フロントリングをはずします。

- ◆ フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりとつかんで回してください。



- 2** コンバージョンレンズを取り付けます。



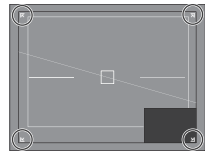
- ① はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。

### ■ コンバージョンレンズの使い方

別売の専用コンバージョンレンズ WCL-X100 または TCL-X100 を使用するときには、撮影メニューの **☑ 撮影設定 > コンバージョンレンズをワイド** または **テレ** にしてください (P110)。WCL-X100 II または TCL-X100 II を使用するときには、カメラが自動的にコンバージョンレンズを検知するため撮影メニューの設定は不要です。

- ◆ コンバージョンレンズを装着すると、画面にアイコン (📷/📷) が表示されます。

- ◆ ワイドコンバージョンレンズを装着すると、OVF ではブライトフレームの表示範囲を超えるため、**⏏** **⏏** **⏏** **⏏** が表示されます。より正確なフレーミングが必要な場合には、EVF または LCD での撮影をおすすめします。



- ◆ 内蔵フラッシュを使用して撮影すると、画像の一部が暗くなる場合があります。専用外部フラッシュのご使用をおすすめします。
- ◆ コンバージョンレンズを使用しないときは、必ず**コンバージョンレンズを OFF** にしてください。

# お取り扱いにご注意ください

## ご使用前に必ずお読みください

### 安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。  
ます。

- ・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



**警告**  
この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**  
この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告



異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC / パワーアダプターを外す。

煙が出ている、異音が生ずるなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- ・お買上げ店にご相談ください。

内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC / パワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- ・お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

・感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついたり、火災・感電の原因になります。

・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。

## 警告



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性(⊕ ⊖)表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たいたたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。

電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・ヤブドの原因になります。



指定外の電池・バッテリーや AC / パワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。



カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三脚などをお使いください。

- ・気温の高い環境でご使用になる場合
- ・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

**警告**

電源を入れたまま長時間、身体と同じ個所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合は、三角などをお使いください。

- ・長時間ご使用になる場合
- ・気温の高い環境でご使用になる場合
- ・血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にゼロハンテープなどの絶縁テープをはる。



他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。

メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



小さいお子様の手の届くところに置かない。誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

**注意**



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。



AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

**注意**



定期的な内部点検・清掃を依頼する。

本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

- ・2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

## お取り扱いにご注意ください

### 電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

### 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

### ■バッテリーの特性

- ・バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- ・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- ・寒冷地や低温時には撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

### ■充電について

- ・付属の充電器を使用して充電できます。
- 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- ・充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- ・充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- ・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

### ■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

### ■保存上のご注意

- ・充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- ・涼しいところで保存してください。
- 周囲の温度が+15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
- 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

### ！危険ですので、次のことにご注意ください

- ！ バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようご注意ください。
- ！ 火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- ！ 分解したり、改造したりしないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- ・水にぬらさないようご注意ください。
- ・端子は常にきれいにしておいてください。
- ・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

### ■電池の廃棄について

- ・電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

### ■小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りの

リサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。 <http://www.jbrc.com/>

### ■ACパワーアダプター使用機種

- 必ず専用のACパワーアダプターをお使いください。弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。ACパワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。
- ・室内専用です。
- ・DC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- ・DC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ・ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。詳細は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> をご覧ください。
- ・使用中、ACパワーアダプターが熱くなることがありますが故障ではありません。
- ・分解したりしないでください。危険です。
- ・高温多湿のところでは使用しないでください。
- ・落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・内部で発音音がすることがありますが、異常ではありません。
- ・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

### カメラをお使いになる前のご注意

#### ■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

#### ■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意ください。

#### ■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。


#### ■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- ・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

#### ■商標について

- ・デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- ・、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™ は富士フイルム（株）の商標です。
- ・DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- ・Macintosh、Mac OS、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- ・HDMI ロゴは商標です。
- ・その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

#### ■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- ・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。  
VCCI-B
- ・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

## お取り扱いにご注意ください

### カメラの使用上のご注意

- ・カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにしてご注意ください。

### ■避けて欲しい保存場所

- 次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。
- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
  - ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
  - ・極端に寒いところ
  - ・振動の激しいところ
  - ・油煙や湯気の当たるところ
  - ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
  - ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

### ■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の天敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。

### ■結露（ゆづつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなつてからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

### ■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

### ■海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

### メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

### ■メモリーカード取扱上のご注意

- ・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- ・メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- ・指定以外のメモリーカードはお使いになりません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- ・強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- ・静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- ・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

### ■メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- ・パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- ・カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- ・パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- ・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- ・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。



**重要! 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。**

①本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ **本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。**

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ **無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。**

本製品の無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を順守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

電波によるデータ (画像) の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ **磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。**

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているもの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ **使用周波数帯**

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

#### 無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ **本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**

- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  - (1) 構内無線局 (免許を要する無線局)
  - (2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

■ **本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

**2.4DS/OF4**


本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。



## トラブルシューティング / FAQ


カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

### ■ 電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	ページ	
バッテリー、電源について	ON/OFF（電源）レバーをONに合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	28、30
		バッテリーを正しい向きで入れていませんか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	30
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。	30
	ON/OFF（電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	シャッターボタンを半押ししてください。	—
	バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	166
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
 フォーカス設定 > プリ AF を ON に設定していませんか？		プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	104	
同じバッテリーを長時間使っていませんか？		バッテリーの寿命の可能性あります。新品のバッテリーと交換してください。	—	
使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	28、30	

症状		ここをチェック！	処置	ページ
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	28
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	197

## ■ メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	ページ
メニューが日本語以外で表示されています。	 <b>基本設定 &gt; 言語/LANG.</b> が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を <b>日本語</b> にしてください。	126

■ 撮影時

症状		ここをチェック！	処置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	30、47
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	125
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	30
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	28、30
	シャッターボタンを半押しすると、EVF や LCD にノイズが見えます。	電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	33
シャッターボタンを半押しすると、EVF や LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているのに、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—	
ピントについて	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	89、90
顔検出について	顔検出が設定できません。	顔検出が設定できない撮影モードになっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	182
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	105
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	—
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	
	人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—	
ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔検出を使わずに AF/AE ロック撮影してください。	89	

症状		ここをチェック！	処置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	182
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	28、30
		内蔵フラッシュまたは連写機能に対応していないフラッシュを使用して、ドライブモードを連写または AE ブラケティングやダイナミックレンジ BKT に設定していませんか？	ドライブモードを <b>1 コマ撮影</b> にしてください。	63
		<b>基本設定 &gt; 電子音 &amp; フラッシュ</b> が OFF に設定されていませんか？	<b>電子音 &amp; フラッシュ</b> を ON にしてください。	126
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
	高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが 1/250 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを 1/250 秒以下に設定してください。	91、59、61	
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	—
		レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	42
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と <b>AF</b> が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影していませんか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。 <b>画質設定 &gt; ピクセルマッピング</b> を実行してください。	103
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？ 温度警告が表示されていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	180
画像がゆがんでいます。	<b>AF</b> または <b>AE</b> が表示されていませんか？	近くに磁気があれば、遠ざけてください。	—	

■ 再生時

	症状	ここをチェック！	処置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？ 他のカメラで記録した画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。 他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量的設定が小さくなっていますか？	再生音量を調節してください。	128
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないようにください。	12、49
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないようにください。	12、51
		<b>■ 基本設定 &gt; 電子音 &amp; フラッシュが OFF に設定されていませんか？</b>	<b>電子音 &amp; フラッシュを ON にしてください。</b>	126
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	120
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	135

■ 接続時

症状		ここをチェック！	処置	ページ
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	152
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	145
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	MyFinePix Studio (Windows) を使って、画像を取り込んでください。	144

## ■ 無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。

<http://digitalcamera.support.fujifilm.jp/app/>

症状	ここをチェック！	処置	ページ
スマートフォンと接続できません。 スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	137、 142
	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	
	スマートフォンが近距離に複数台ありますか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
	動画や他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。 動画は送信できません。	
スマートフォンで受信した画像が開けません。	<b>接続設定 &gt; ワイヤレス設定のスマートフォン送信時 <input checked="" type="checkbox"/> 圧縮を OFF に設定していませんか？</b>	スマートフォン送信時 <input checked="" type="checkbox"/> 圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	





■ その他

症状		ここをチェック！	処置	ページ
カメラの動作 などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	30
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	28、30
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
	カメラが正常に作動しなくなっていました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	30、197
音について	音がでません。	<b>音設定を OFF</b> や音量 <b>0</b> に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	128
		<b>基本設定 &gt; 電子音 &amp; フラッシュが OFF</b> に設定されていませんか？	<b>電子音 &amp; フラッシュを ON</b> にしてください。	126

## 警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点減)	バッテリーの残量がありません。	
<b>!AF</b> (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください (☞ 89)。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。</li> <li>適切な明るさ (露出) ではありませんが撮影できます。</li> </ul>
<b>フォーカスエラー</b> <b>レンズ制御エラー</b> <b>電源を入れ直してください</b>	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れ直してください。</li> <li>電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</li> </ul>
<b>カードがありません</b>	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとしたしました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
<b>フォーマットされていません</b>	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (☞ 125)。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (☞ 125)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (☞ 125)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください ( 125 )。
	メモリーカードの接触面 ( 金色の部分 ) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります ( 125 )。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください ( 32 )。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください ( 125 )。
空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直しか電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください ( 125 )。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 <b>保存設定 &gt; コマ NO.</b> を新規に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 <b>コマ NO.</b> を連番に戻すと、引き続き撮影できます。

## 警告表示

警告表示	警告内容	処置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（☑ 125）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロテクトされているファイルを消去しようとしてしました。</li> <li>・プロテクトされているファイルを回転しようとしてしました。</li> </ul>	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（☑ 120）。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません ⚠ 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。
回転できません ⚠ 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしてしました。	回転できません。
実行できません ⚠ 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしてしました。	—
!⚠ (黄)	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	
!⚠ (赤)	カメラの温度が上昇しています。画像にノイズが多くなる場合があります。また、連写速度、表示のなめらかさなどのパフォーマンスが低下します。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。

## SDメモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	8 GB		16 GB	
			FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	3:2		540	800	1110	1660
	RAW (非圧縮)		150		320	
	RAW (ロスレス圧縮)		300		630	
動画*1	1080/59.94P*2		26分		54分	
	1080/50P*2					
	1080/29.97P*2					
	1080/25P*2					
	1080/24P*2					
	1080/23.98P*2					
	720/59.94P*3		51分		105分	
	720/50P*3					
	720/29.97P*3					
	720/25P*3					
720/24P*3						
720/23.98P*3						

\*1 動画を撮影するときは、UHSスピードクラス1以上のメモリーカードをご使用ください。

\*2 連続して記録する場合、約14分で自動的に撮影を停止します。

\*3 連続して記録する場合、約28分で自動的に撮影を停止します。

## 各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

- ✔ が付いている機能でも、選択できない設定値がある場合があります。
- ✖ 撮影条件によっては機能が制限される場合があります。

撮影モード (シーン)		P	S	A	M		BKT						
フラッシュ機能設定 <sup>8</sup>	TTLモード		✔				✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>		✔ <sup>3</sup>	
			✔	✔ <sup>1</sup>	✔	✔ <sup>1</sup>	✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>6</sup>	✔	✔		✔	
	同調モード		✔		✔		✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>			✔ <sup>3</sup>
			✔	✔	✔	✔	✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>6</sup>	✔	✔			✔
			✔	✔	✔	✔	✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>6</sup>	✔	✔			✔
	M	✔	✔	✔	✔	✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>6</sup>	✔	✔			✔	
		✔	✔	✔	✔	✔ <sup>6</sup>	✔ <sup>6</sup>	✔	✔			✔	
OFF	✔	✔	✔	✔	✔ <sup>1</sup>	✔	✔	✔		✔ <sup>1</sup>		✔	
赤目補正 <sup>9</sup>	赤目抑制発光 + 補正処理		✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>							
	赤目抑制発光		✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>							
	補正処理		✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>							
	OFF		✔	✔	✔	✔							✔ <sup>1</sup>
フラッシュ調光補正		✔	✔	✔	✔			✔	✔			✔ <sup>7</sup>	
セルフタイマー		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔	
露出補正		✔	✔	✔	✔ <sup>5</sup>	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔ <sup>2</sup>	
F		✔ <sup>1</sup>	✔ <sup>1</sup>	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
S.S.		✔ <sup>1</sup>	✔ <sup>4</sup>	✔ <sup>1</sup>	✔ <sup>4</sup>	✔	✔	✔	✔	✔	✔ <sup>3</sup>	✔ <sup>3</sup>	
シャッター方式	MS (1/4000 まで)		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔ <sup>1</sup>		✔ <sup>7</sup>
	MS+ES		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔ <sup>7</sup>
	ES (1/32000 まで)		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔ <sup>1</sup>	✔ <sup>7</sup>
プログラムシフト		✔				✔	✔	✔	✔			✔ <sup>7</sup>	
AE/AF ロック機能選択	AF LOCK のみ		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	AE LOCK のみ		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	
	AE/AF LOCK		✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔ <sup>7</sup>

撮影モード (シーン)		P	S	A	M		BKT					
ISO 感度	AUTO								✓			
	AUTO1	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓		✓
	AUTO2	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓		✓
	AUTO3	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓		✓
	H (51200)/H (25600)	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>3</sup>	✓				✓
	12800	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>3</sup>	✓		✓	✓	✓
	6400 ~ 1000	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓
	800	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
640 ~ 200	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>3</sup>	✓		✓	✓	✓	
L (100)	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>3</sup>	✓				✓	
画像サイズ		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
画質モード	FINE/NORMAL	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓
	RAW	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓
RAW 記録方式	非圧縮	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓
	ロスレス圧縮	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓
ダイナミックレンジ	AUTO	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓ <sup>1</sup>	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
フィルムシミュレーション		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓ <sup>1</sup>	✓	✓	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
グレイン・エフェクト	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓
ホワイトバランス	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>1</sup>	✓	✓	✓
デジタルテレコン (50mm/70mm)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓					✓
コンバージョンレンズ (WIDE/TELE)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
顔検出	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓
瞳 AF	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓
測光		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>1</sup>	✓ <sup>1</sup>	✓ <sup>1</sup>	✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓

各撮影モードで使用できる機能について

撮影モード (シーン)		P	S	A	M		BKT					
フォーカスモード	S	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>1</sup>	✓	✓ <sup>7</sup>
	C	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>7</sup>
AFモード		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>1</sup>	✓ <sup>1</sup>
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
動画 AF モード												✓
												✓
MF アシスト	スタンダード	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>1</sup>		✓ <sup>1</sup>	
	デジタルスプリットイメージ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
	フォーカスピーキング	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
測光 & フォーカスエリア連動		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓ <sup>7</sup>
AF+MF		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓		
AF 補助光		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓ <sup>7</sup>
カラー		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓ <sup>7</sup>
シャープネス		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓ <sup>7</sup>
ハイライトトーン		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓ <sup>7</sup>
シャドウトーン		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓ <sup>7</sup>
ノイズリダクション		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓ <sup>7</sup>
長秒時ノイズ低減		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓ <sup>7</sup>
カスタム選択 / カスタム登録 / 編集		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
マニュアル時モニター露出 /WB 反映					✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>7</sup>
フォーカスチェック	(AF 時) <sup>11</sup>	✓ <sup>10</sup>	✓ <sup>10</sup>	✓ <sup>10</sup>	✓ <sup>10</sup>	✓ <sup>10</sup>	✓ <sup>10</sup>	✓ <sup>10</sup>	✓ <sup>10</sup>	✓ <sup>10</sup>		
	(MF 時) <sup>11</sup>	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				



撮影モード (シーン)		P	S	A	M		BKT							
画面のカスタマイズ	フレーミングガイド	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
	電子水準器	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	
	AF フレーム	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
	AF 時の距離指標	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
	MF 時の距離指標	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓	
	ヒストグラム	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓						
	撮影モード	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	絞り値 / シャッター速度 / ISO	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	情報表示背景	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	露出補正表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	露出補正ゲージ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	フォーカスモード	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓	
	測光	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓						
	シャッター方式	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				
	フラッシュ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
	連写モード	✓	✓	✓	✓	✓	✓							
	ホワイトバランス	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓
	フィルムシミュレーション	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓
	ダイナミックレンジ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
	撮影可能枚数	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
画像サイズ & 画質モード	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			
動画モード & 録画時間	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	
デジタルテレコン	✓	✓	✓	✓										
コンバージョンレンズ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
バッテリー残量表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
画面枠 <sup>13</sup>	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
色空間	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓ <sup>12</sup>	✓ <sup>7</sup>

1 自動で固定されます。

2 動画時の設定範囲は±2.0に制限されます。

3 各モードで設定値が制限されます。

4 **A**は選択できません。5 感度が**AUTO**のときのみ有効です。

6 連写機能のある外部フラッシュでのみ設定可能となります。内蔵フラッシュでは設定できません。

7 静止画撮影の設定を引き継ぎます。

8 シャッター方式で電子シャッターが選択されたときは、発光禁止になります。赤目軽減は、赤目補正が**OFF**以外で顔検出を**ON**にすると選択できます。

9 ワイヤレス通信のリモート撮影

10 フォーカスモードが**AF-S**で**AF**モードが**シングルポイント**のときのみ有効です。11 インターバル撮影タイマー撮影時は、自動的に**OFF**になります。

12 自動的にsRGBになります。

13 LCD/EVF表示のみ有効です。

## リンク集

富士フィルムでは、デジタルカメラに関するさまざまな情報をホームページで紹介しています。是非、アクセスしてみてください。

### FUJIFILM X100F 製品情報

製品情報サイトでは、サポート情報やアクセサリなどがご覧になれます。

富士フィルム X100F



### 撮影の基礎知識

撮影シーンに合わせたレンズの選び方や焦点距離や露出値などのコントロール方法が記載されています。

富士フィルム 撮影の基礎知識



### デジタルカメラ撮影ガイド

色々なシーンの撮影方法が記載されています。

富士フィルム 撮影ガイド



### ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各種のファームウェア更新情報をご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>

富士フィルム ファームウェア



#### ● ファームウェアバージョンの確認方法

① バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。

**1** カメラの電源をオフにします。  
メモリーカードが入っていることを確認します。

**2** DISP/BACK ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。



**3** バージョンの確認ができたなら、電源をオフにしてください。

## 主な仕様

### システム

製品名	FUJIFILM X100F
製品型番	FF160004
有効画素数	約 2430 万画素
撮像素子	23.5mm × 15.6mm (APS-C サイズ) X-Trans CMOS III、原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品)
記録方式	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 静止画 : DCF 準拠<ul style="list-style-type: none"><li>圧縮 : Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 / DPOF 対応</li><li>非圧縮 / ロスレス圧縮 : RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり</li></ul></li><li>・ 動画 : H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き</li></ul>
記録画素数	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>L 3:2</b> (6000×4000)</li><li>・ <b>M 3:2</b> (4240×2832)</li><li>・ <b>S 3:2</b> (3008×2000)</li><li>・ <b>L 16:9</b> (6000×3376)</li><li>・ <b>M 16:9</b> (4240×2384)</li><li>・ <b>S 16:9</b> (3008×1688)</li><li>・ <b>L 1:1</b> (4000×4000)</li><li>・ <b>M 1:1</b> (2832×2832)</li><li>・ <b>S 1:1</b> (2000×2000)</li><li>・ パノラマ <b>L</b> (2160×9600; 縦)、(9600×1440; 横)</li><li>・ パノラマ <b>M</b> (2160×6400; 縦)、(6400×1440; 横)</li></ul>
レンズ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 名称 : フジノン単焦点レンズ</li><li>・ 焦点距離 : f=23mm (35mm フィルム換算 : 約 35mm)</li><li>・ 開放 F 値 : F2.0</li></ul>
撮影感度	ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 100/25600/51200 は拡張モード
測光方式	TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル
露出補正	- 5EV ~ +5EV (1/3 段ステップ)

システム

シャッタースピード

- ・ **メカニカルシャッター**
    - Pモード時：4秒～ $\frac{1}{4000}$ 秒
    - タイム：30秒～ $\frac{1}{4000}$ 秒
  - ・ **電子シャッター**
    - P、S、A、M：30秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
    - タイム：30秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
  - ・ **メカニカル+電子**
    - Pモード時：4秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
    - タイム：30秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒
- 全モード合わせて：30秒～ $\frac{1}{4000}$ 秒  
- バルブ：最長60分
- バルブ：1秒固定
- 全モード合わせて：30秒～ $\frac{1}{32000}$ 秒  
- バルブ：最長60分

連写

連写モード	選択可能な連写速度 (コマ / 秒 [fps])		連続記録枚数
	JPEG		
	8.0 pfs	8.0	約53コマ
	5.0 pfs	5.0	約56コマ
	4.0 pfs	4.0	約58コマ
	3.0 pfs	3.0	約62コマ

- ◆ ご使用のメモリーカードによって異なります（上記数値はUHSスピードクラス1の場合）。
- ◆ 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。

フォーカス

- ・ **モード**：シングルAF/ コンティニュアスAF/ マニュアルフォーカス（リング回転式）
- ・ **AF方式**：インテリジェントハイブリッドAF（TTLコントラストAF+位相差AF）、AF補助光付き
- ・ **AFフレーム選択**：シングルポイント、ゾーン、ワイド/トラッキング

ホワイトバランス

AUTO/ カスタム1～3/ 色温度（ケルビン値）設定 / 晴れ / 日陰 / 蛍光灯1/ 蛍光灯2/ 蛍光灯3/ 電球 / 水中

セルフタイマー

OFF、2秒、10秒

フラッシュ発光モード

- ・ **モード**：TTL（フラッシュ発光AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、コマンダー、発光禁止
- ・ **同調モード**：先幕、後幕
- ・ **赤目補正**：赤目抑制発光+補正処理、赤目抑制発光、補正処理、OFF

アクセサリシュー

あり（TTLフラッシュ対応）

## システム

- ハイブリッド  
ビューファインダー
- ・光学ファインダー (OVF) : 電子式ブライトフレームファインダー (逆ガリレオ式)、  
撮影範囲フレーム視野率約 92%、ファインダー倍率約 0.5 倍
  - ・電子ビューファインダー (EVF) : 0.48 型カラー液晶ファインダー、約 236 万ドット  
ファインダー倍率 0.64 倍 (35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、  
視度  $-1.0\text{m}^{-1}$  のとき)、対角視野約 32.4 度 (水平視野約 27.1 度)
- 視度調節 :  $-2 \sim +1\text{m}^{-1}$  (dpt)  
- アイポイント : 約 15mm

液晶モニター (LCD) 3.0 型カラー液晶モニター、約 104 万ドット、固定式

- 動画 (ステレオ音声付き)
- |  |   |
|--|---|
| ・ <b>HD 1080/59.94P</b> : 59.94 フレーム / 秒 | ・ <b>HD 720/59.94P</b> : 59.94 フレーム / 秒 |
| ・ <b>HD 1080/50P</b> : 50 フレーム / 秒       | ・ <b>HD 720/50P</b> : 50 フレーム / 秒       |
| ・ <b>HD 1080/29.97P</b> : 29.97 フレーム / 秒 | ・ <b>HD 720/29.97P</b> : 29.97 フレーム / 秒 |
| ・ <b>HD 1080/25P</b> : 25 フレーム / 秒       | ・ <b>HD 720/25P</b> : 25 フレーム / 秒       |
| ・ <b>HD 1080/24P</b> : 24 フレーム / 秒       | ・ <b>HD 720/24P</b> : 24 フレーム / 秒       |
| ・ <b>HD 1080/23.98P</b> : 23.98 フレーム / 秒 | ・ <b>HD 720/23.98P</b> : 23.98 フレーム / 秒 |

## 入出力端子

- HDMI 出力 HDMI マイクロ端子 (Type D)
- デジタル入出力 マイクロ USB 端子 (Micro-B) USB2.0 High-Speed
- マイク / リモート端子  $\phi$  2.5mm ステレオミニジャック

## 主な仕様

### 電源部、その他

**電源** 充電式バッテリー NP-W126S (付属)

**バッテリー作動可能枚数の目安** **バッテリーの種類：NP-W126S**

	撮影枚数		
	LCD	EVF	OVF
ハイパフォーマンス	260	250	390
スタンダード	280	270	390
エコノミー	340	330	430

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

\* **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。

**本体外形寸法** 126.5 mm × 74.8 mm × 52.4 (32.0\*) mm

(幅×高さ×奥行き) \* 突起部含まず、奥行は最薄部表記

**撮影時質量** 約 469 g (付属バッテリー、メモリーカード含む)

**本体質量** 約 419 g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)

**動作環境** • **温度**：0℃～+ 40℃ • **湿度**：10～80% (結露しないこと)

### ワイヤレス転送部

**準拠規格** IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)

**使用周波数範囲** アメリカ・カナダ・台湾：2412MHz～2462MHz (11ch)

(中心周波数) アメリカ・カナダ・台湾以外：2412MHz～2472MHz (13ch)

**アクセス方式** インフラストラクチャーモード

**バッテリー NP-W126S**

公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×厚み)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

**バッテリーチャージャー BC-W126**

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	13～21VA
定格出力	DC 8.4V 0.6A
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-W126S
充電時間	約 150 分 (+20℃において)
使用温度	+5℃～+ 40℃
外形寸法 (幅×高さ×厚み)	65mm × 91.5mm × 28mm (突起物を除く)
質量	約 77g (本体のみ)

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

- ①仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

# 索引

## [アイコン]

⏮ (再生) ボタン、43

⏭ (消去) ボタン、47

📷 PROVIA/スタンダード、72

📷 Velvia/ビビッド、72

📷 ASTIA/ソフト、72

📷 クラシックククローム、72

📷 PRO Neg. Hi、72

📷 PRO Neg. Std、72

📷 ACROS、72

📷 ACROS+Ye フィルター、72

📷 ACROS+R フィルター、72

📷 ACROS+G フィルター、72

📷 モノクロ、72

📷 モノクロ+Ye フィルター、72

📷 モノクロ+R フィルター、72

📷 モノクロ+G フィルター、72

📷 セピア、72

TTL TTL、92

M TTL、92

📷 コマンドー、92

📷 OFF OFF、92

📷 フラッシュ発光 AUTO、92, 157, 160

📷 スタンダード、92, 157, 160

📷 スローシンクロ、92, 157, 160

📷 先幕、92, 158, 160

📷 後幕、92, 158, 160

📷 光量優先、158, 161

📷 スタンダード、158, 161

📷 配光優先、158, 161

📷 キャッチライト、158

AF AF 補助光、158

📷 AF 補助光 + キャッチライト、158

!AF AF 警告、178

📷 温度警告、180

📷 撮影時のボタンロック、14, 21, 23

📷 プレゼント、43

📷 トイカメラ、65

📷 ミニチュア、65

📷 ポップカラー、65

📷 ハイキー、65

📷 ローキー、65

📷 ダイナミックトーン、65

📷 ソフトフォーカス、65

📷 パートカラー (レッド)、65

📷 パートカラー (オレンジ)、65

📷 パートカラー (イエロー)、65

📷 パートカラー (グリーン)、65

📷 パートカラー (ブルー)、65

📷 パートカラー (パープル)、65

📷 1 コマ撮影、63

📷 連写、63, 64

📷 AE ブラケティング、63, 64

📷 ISO ブラケティング、63, 64

📷 フィルムシミュレーションブラケティング、63, 65

📷 ホワイトバランスブラケティング、63, 65

📷 ダイナミックレンジブラケティング、63, 65

📷 パノラマ、63, 66

📷 多重露出、63, 68

📷 アドバンストフィルター、63, 65

📷 動画、49, 63

📷 100 ダイナミックレンジ 100%、101

📷 200 ダイナミックレンジ 200%、101

📷 400 ダイナミックレンジ 400%、101

📷 カスタム 1、73

📷 カスタム 2、73

📷 カスタム 3、73

📷 K 色温度 (ケルビン値) 設定、73

📷 \* 晴れ、73

📷 ☁ 日陰、73

📷 📷 蛍光灯 1、73

📷 📷 蛍光灯 2、73

📷 📷 蛍光灯 3、73

📷 📷 電球、73

📷 📷 水中、73



## 【A～Z】

AE/AF-LOCK 設定、90,133  
AE/AF ロック、89  
**AE-L** (AE ロック) ボタン、90,133  
AE ロック、89  
**AF-L** (AF ロック) ボタン、90,133  
AF+MF、106  
AF (オートフォーカス)、89,90  
AF 警告、178  
AF 合焦音量、128  
AF フレーム補正、107  
AF ポイント表示、104  
AF 補助光、105  
AF ロック、89  
**C** (コンティニユアス AF)、76  
CH 設定、114,161  
**DISP/BACK** (表示 / 戻る) ボタン、38  
DPOF 指定、148  
ERF (電子式レンジファインダー)、36  
EVF (ビューファインダー)、22,35  
EVF 明るさ、37  
EVF 鮮やかさ、37  
EVF 縦横自動回転表示、37,130  
**Fn** (ファンクション) ボタン、55  
FUJIFILM Camera Remote、142  
FUJIFILM PC AutoSave、143  
HDMI、155  
HDMI ケーブル、152  
HDMI 出力情報表示、116  
instax SHARE、150  
LCD (液晶モニター)、22,35  
LCD 明るさ、37  
LCD 鮮やかさ、37  
LED ライト設定、113,158

MASTER 設定、114,161  
**MENU/OK** ボタン、99,118,124  
MF アシスト、106  
MyFinePix Studio、144  
M (マニュアルフォーカス)、76  
ND フィルター、110  
**ON/OFF** (電源) レバー、33  
OVF (光学ファインダー)、20,35  
PC 保存、122  
PC 保存先設定、137  
**Q** (クイックメニュー) ボタン、52  
RAW FILE CONVERTER EX 2.0、144  
RAW 画像、93,94  
RAW 記録方式、101  
RAW 現像、94  
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、32,187  
**S** (シングル AF)、76  
TTL-LOCK モード、113  
USB 接続、145,155  
WB シフト、73,75

## 【あ】

アイセンサー、35  
赤目補正、112,121  
アフターサービス (修理)、197  
アベレージ (測光)、71  
位置情報設定、137  
色温度、75  
色空間、103  
インジケータランプ、17  
インターバルタイマー撮影、88  
液晶モニター (LCD)、22,35  
エコノミー (パフォーマンス)、134  
オートパワーオフ (自動電源 OFF)、134  
オートフォーカス (AF)、76,89,90  
音設定、128  
お店プリント、147

## 【か】

海外で使うとき、29,168  
外部フラッシュ、153  
顔検出 / 瞳 AF 設定、105  
画質設定、100  
画質モード、100  
カスタム設定、52,96  
カスタム選択、52,103  
カスタムホワイトバランス、73,74  
画像回転、121  
画像サイズ、100  
画面のカスタマイズ、39  
画面 (表示の切り換え)、35,38,44,46  
カラー、102  
感度、70  
感度 AUTO 設定、110  
感度ダイヤル設定 (H)、132  
感度ダイヤル設定 (A)、132

- 基準 ISO 感度、110  
基本設定、125  
距離指標、79  
距離指標の単位、79,131  
切り抜き (トリミング)、119  
記録画素数、187  
クイックメニュー登録 / 編集、54  
グレイン・エフェクト、101  
減感、95  
言語設定、34,126  
光学ファインダー (OVF)、20,35  
工場出荷時の設定値、139  
合焦マーク、76  
コマ NO. (コマナンバー)、135  
コンティニュー AF (C)、76  
コントロールリング、18,62,133  
コントロールリング設定、133  
コンバージョンレンズ、110,163
- 【さ】**  
再生音量、128  
再生ズーム、45  
再生メニュー、118  
再生モード、43  
再生モード、43  
撮影画像表示、129  
撮影可能枚数、181  
撮影時の情報、44  
撮影設定、108  
撮影メニュー、99  
自動電源 OFF (オートパワーオフ)、134  
視度調節ダイヤル、37  
絞り優先、60  
シャープネス、102  
シャッター音、128  
シャッター音量、128
- シャッター回数、126  
シャッタースピード、58,59,61  
シャッタースピード優先、59  
シャッター方式、109  
シャドウトーン、102  
修理、197  
消去、47,119  
上限 ISO 感度、110  
消費電力設定、134  
初期化 (フォーマット)、125  
シングル AF (S)、76  
シングルポイント (AF モード)、80  
スタンダード (パフォーマンス)、134  
ストラップ、26  
スポット (測光)、71  
スマートフォン、142  
スライドショー、122  
静止画撮影、41  
世界時計、126  
接続設定、137  
セットアップメニュー、124  
セルフタイマー、87  
セルフタイマー音量、128  
セレクトボタン、14  
増感、95  
操作音量、128  
操作ボタン・ダイヤル設定、132  
ゾーン (AF モード)、80  
測光、71  
測光 & フォーカスエリア連動、106
- 【た】**  
ダイナミックレンジ、101  
タイム撮影、85  
多重露出撮影、68
- 縦横自動回転再生、131  
中央部重点 (測光)、71  
長秒時ノイズ低減、85,102  
著作権情報、136  
低速シャッター限界、110  
デジカメプリント、147,148  
デジタルスプリットイメージ、79,106  
デジタルテレコン、62,110  
テレビ接続、152  
電源、33  
電子音 & フラッシュ、126  
電子式レンジファインダー (ERF)、36  
電子シャッター、109  
電子水準器、40  
動画 AF モード、115  
動画再生、51  
動画撮影、49  
動画設定、115  
動画モード、115  
ドライブモード、63  
トリミング、119
- 【な】**  
内蔵フラッシュ、91,114  
日時設定、34,126  
ノイズリダクション、102
- 【は】**  
ハイパフォーマンス (パフォーマンス)、134  
ハイビジョン動画、49  
ハイライトトーン、102  
パソコン接続、144  
バッテリー、2,28,30,153  
バッテリー残量表示、33  
パフォーマンス、134  
バルブ撮影、85

- ピクセルマッピング、103  
被写界深度、60  
被写界深度スケール、107  
ヒストグラム表示、40  
日付あり設定（プリント予約）、148  
ビューファインダー、20,22,35  
表示設定、129  
表示比率（HDMI）、123  
ファイル名編集、135  
ファンクション（Fn）ボタン、55  
フィルムシミュレーション、72  
フォーカスエリア、81,82,83  
フォーカスエリア選択、81,104  
フォーカスエリアポイント、82  
フォーカス設定、104  
フォーカスチェック、77,79  
フォーカス点数切り替え、104  
フォーカスピーキング、79,106  
フォーカスモード、76  
フォーカス優先、107  
フォーカスリング、78,133  
フォーカスレバー設定、132  
フォーマット（初期化）、125  
フォトブック、97  
付属品、2  
フラッシュ機能設定、91,112  
フラッシュ設定、112  
プリAF、77,104,170  
プリント予約（DPOF）、148  
フレーミングガイド、131  
プレゼント、43  
プログラム、58  
プログラムシフト、58  
プロテクト、120  
フロントコマンドダイヤル、43,16,58  
別売アクセサリ、153  
ヘルプ（ソフトウェア）、146  
補正前画像記録、135  
保存設定、135  
ホワイトバランス、73
- 【ま】**  
マイク/リモートレリーズ設定、50,86,116  
マイクレベル設定、116  
マイクロサムネイル、46  
マイメニュー、117,138  
マニュアル、61  
マニュアル時モニター露出/WB反映、130  
マニュアルフォーカス（M）、76,78  
マルチ再生、46  
マルチ（測光）、71  
無線LAN、142  
メカニカルシャッター、109  
メモリーカード、32,181  
モデリング発光、57  
モニター撮影効果反映、130
- 【ら】**  
リアコマンドダイヤル、45,47,16  
リサイズ、120  
リセット、127  
リモートレリーズ、86  
レリーズ優先、107  
連写、64  
露出補正、69  
露出補正バー、69  
ロスレス圧縮、101
- 【わ】**  
ワイド/トラッキング（AFモード）、80  
ワイヤレス設定、137  
ワイヤレス通信、111,121  
ワンタッチ AF 時の動作、106

## ソフトウェアのお問い合わせについて

---

- 1 お問い合わせの前にお確かめください。  
ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。
- 2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ  
<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。
- 3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。  
より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。
  - ・カメラの機種名
  - ・ソフトウェアのバージョン
  - ・エラーメッセージ
  - ・どのようなときにトラブルが発生しますか？／トラブルが発生する直前の操作は？／カメラの状態は？／トラブルが発生する頻度は？
  - ・ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。

## アフターサービスについて

### 保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

### 修理

#### ■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障が迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

#### ■故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

#### ■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

#### ■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

### 個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

- お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。





## ●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日～金曜日 9:30～17:30/

土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

## ●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

## ■修理サービスQ&amp;A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。  
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

## ■修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。  
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

## ●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

## ■修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日 9:30～17:30 (日曜日、祝日、  
土曜日 10:00～17:00 年末年始を除く)

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

## ■修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePixクイックリペアサービス】お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス  
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶お近くのサービスステーション

【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の＜修理ご相談受付窓口＞にて  
ご確認・お問い合わせください。

## ●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 050-3786-1711 (月曜日～金曜日 9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00 ※日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。